

Ⅲ. 2015 年度事業実績詳細

I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 市民主体の国際交流活動推進事業

(1) 情報サービス事業

◆ 情報発信をコンセプトに、以下について毎月掲載した。

- ① 協会のミッションとそれに基づく活動を伝えること
- ② 在住外国人に関する基礎的情報を提供すること
- ③ 地域で生活する外国人へ多言語での情報

表紙のデザインは、地域の高校との連携推進の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校美術部の高校生ボランティアにお願いした。

ニュースレターを日本語版と多言語版に分け、日本語版は「とよなか国際交流センターおしらせ」として内容はセンター事業を中心にした案内や報告を前面に掲載した。

(日本語版:A4版 4 ページ 2 色刷り(73 号～84 号)各月 1700 部)

また、外国人向けには 8 言語(基本的に英語、中国語、韓国朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)で事業案内や生活情報を発信した。

(多言語版:A4版 4 ページ 2 色刷り(2015 年 4 月号～2016 年 3 月号)各月 700 部)

◆ 多言語メールニュースの配信

月 1 回、多言語ニュースレターの内容を毎月(基本的に第 1 金曜日)に 8 言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)でメールニュース希望者に E メールにて配信した。(2016 年 3 月時点のメールニュース配信数 152 人)

◆ 書籍・新聞・雑誌などの閲覧提供

雑誌の提供と収集事業。言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行った。他、昨年度に引き続き半年毎に約 100 冊の多言語書籍が豊中市立図書館より団体貸出され、また昨年度から引き続き、図書館との連携のもと図書の実質化を図ったほか、図書の整理を図書ボランティアが行い、市民が利用しやすい環境を整えた。

・図書類(外国語図書(絵本)含む)

貸 出		貸出件数(件)	増 刷		購入件数(件)
総 数		101	総 数		73
【内訳】	一般図書	34	【内訳】	一般図書	7
	外国語図書(絵本含む)	67		日本語学習関係	8
	<内> 中国語	(21)		辞書類	1
	スペイン語	(10)		絵本(日本語)	6
	ネパール語	(0)		資料	51
	タイ語	(20)		外国語図書(絵本含む)	0
	ポルトガル語	(5)			
	韓国語	(4)			
	フィリピン語	(2)			
	インドネシア語	(0)			

・定期刊行物

内 容	購入点数(単位:冊)	フリーペーパーなど(単位:誌)
定期刊行物	日本語新聞	3
	雑誌・機関紙等	1
	外国語新聞	3

・民族楽器、民族衣装、民族教材

内 容(貸出件数)	民族衣装(18 件)	民族楽器(4 件)	民族教材(10 件)	計:32
-----------	------------	-----------	------------	------

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、利用期限を区切り自由に個人的な情報交換ができるようにした。利用件数:35件

◆ホームページ

・センターのホームページを新設。協会のホームページの随時更新(協会の年間ホームページ訪問者数 18,987件、多言語での情報提供ページの訪問数は1,081件)

主催事業などの新着情報を随時更新した。日本語及び多言語のニュースレターを毎月発行後にホームページ上でも読めるよう掲載した。イベント情報を外国人向けに多言語で随時更新した。新聞記事も随時掲載した。

◆SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

FacebookならびにTwitterを利用し、毎日の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などをほぼ毎日継続して行った。毎日行われている事業をく本日の ATOMS>として紹介していることは、イベントという“ハレ”の舞台だけでなく、協会の普段の活動の様子を知ってもらい良い機会となっている。Facebook ページの「いいね！」数530(昨年度より200増)。

◆プレスリリースの発行:毎月メディア各社向けにプレスリリースを発行。定期的な事業周知を開始した。

◆ケーブルテレビへの出演・取材協力

ケーブルテレビの豊中市広報番組「かたらいプラザ」(「外国人のための茶道教室」活動紹介)

◆無料インターネット利用:76件(うち外国人35件)

◆インターネットラジオでの情報発信

外国にルーツをもつ若者が中心となってつくるインターネットラジオ「とよなかエアライン」の「協会からのお知らせコーナー」にて、毎月協会事業の発信を行った。発信した情報は、一か月限定でインターネット上で視聴できる。(インターネット映像配信サービス Ustream を利用) 合計視聴回数:384回(2016年4月30日現在)

放送日程	内容
4月5日	ボランティア説明会について
5月3日	ネパール地震復興支援チャリティイベントについて
6月21日	連続セミナーについて
7月5日	豊中まつりについて
8月9日	国際交流フェスタについて
9月13日	哲学カフェについて
10月4日	ネパール大地震現地報告会について
11月1日	多文化フェスティバルについて
12月6日	「メディア入門講座」について
1月10日	第8回市民セミナーについて
2月7日	庶民派室内フェス SHO-MING-HA!!!について
3月10日	第8回「てーげー大学」について

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内容
5月14日	朝日新聞(朝刊)	ネパール地震 現状と課題は 16日 豊中で報告会
2016年 2月6日	山陽新聞 夕刊	スクランブル 2016 日本の制度 離婚簡単? 夫が署名偽装し届け提出 外国人女性の不満次々
2月9日	中国新聞	ニッポン離婚簡単? 日本人夫が署名偽装 でも成立
2月10日	河北新報 夕刊3面	勝手に離婚届け 外国人女性憤慨 協議離婚制度に不備「署名偽装された」
2月11日	高知新聞 朝刊10面	夫が署名偽装 勝手に届け 外国人女性から不満続々「日本の離婚制度は不条理」
2月11日	北海道新聞 朝刊16面	外国人妻 夫が署名偽装「日本 離婚が簡単な国」本人不在でも受理・無効手続き難しく
2月11日	宮崎日日新聞 朝刊13面	夫が署名偽装し離婚 外国人女性被害訴え 不条理な制度に不満
2月13日	日本海新聞 朝刊10面	ニッポン離婚が簡単? 外国人女性ら署名偽装訴え
2月13日	下野新聞 19面	ニッポン 離婚が簡単? 外国人女性ら署名偽装訴え

2月14日	産経新聞 21面	もてなす心は同じ 豊中で外国人向け茶道教室
2月16日	中部経済新聞 17面	ニッポン 離婚が簡単？ 外国人女性ら署名偽装訴え
2月17日	山形新聞 17面	署名偽装、勝手に離婚。外国人女性ら被害訴え
2月18日	静岡新聞 夕刊	ニッポン 離婚が簡単？ 外国人女性ら署名偽装訴え
2月21日	茨城新聞	日本人の夫署名偽装 協議離婚は不条理 当事者の合意で成立 外国人女性、泣き寝入り
2月25日	長崎新聞 10面	ニッポン 離婚手続き簡単？ 夫が外国人妻の署名偽装 被害女性、意思確認を訴え
2月	西日本新聞	日本の離婚「簡単すぎる」外国人「署名偽装」訴え「双方の意思確認を」
2月	JAPAN TODAY	Japanese law accused of failing to prevent fake divorces
3月12日	朝日新聞	届けよう、いつまでもー東日本大震災5年ー外国人支援 豊中でセミナー
3月	はらっぱ 370号	子どもの権利条約～関西フォーラム発～外国にルーツをもつ子ども・若者とともに生きる現場から

◆取材協力

- ・共同通信社（協議離婚問題について）6月16日、19日、11月30日に取材受入
- ・毎日放送（相談事業でかかわっている労働問題の訴訟について）7月17日

(2)市民活動協働事業

◆市民活動共同デスク

2010 年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ 21 との 5 団体で編集委員会をつくり、『2011 とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動がより活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を試みた。

2015 年度は、情報発信の手段として 6 団体(2014 年度 豊中市市民公益活動協議体らっぷが参加、市民ネットきずなの解散)それぞれの活動報告や事業案内を掲載した「壁新聞」(16～18 号)を発行した。今年度の壁新聞は、各発行ごとに共通のテーマ(秋のイベント案内/若者/2016 年度の展望)を決め、中間組織としての役割にかんする記事を掲載するなどの工夫を行った。

会議実施日	内 容(場所)
4 月 17 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
6 月 11 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
7 月 17 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞 16 号」発行
9 月 11 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
10 月 30 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
12 月 11 日	5 団体打合せ(市民活動情報サロン)、「壁新聞第 17 号」発行
2016 年 1 月 15 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)
3 月 11 日	6 団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞第 18 号」発行

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するために、地域で活動する国際交流市民団体・グループの運営側面支援の取り組みを以下の通り行った。

日付	取り組みの内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「とよなか JSL」「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援、及び両者が実施する事業と連携して子どもの日本語と就労をめざす外国人のための日本語サポート事業を協働で推進した。
通年	NPO 法人国際交流の会とよなか(センター登録グループ)が実施する日本語学習プログラム運営委員会に事務局長が委員に参加し、助言を行った。
通年	「多様な支援をする人のための対話の会」をボランティア研修事業として実施した。大阪大学大学院臨床哲学研究科とカフェフィロの協力のもと、市民グループのスタッフ、ボランティアが活動の上で抱える問題、悩み等を語り合う場を設けた。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」のページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。 (9 月より集計を開始。2015 年 9 月～2016 年 3 月 対応件数 88 件)
6 月 28 日 8 月 23 日 10 月 18 日 3 月 12 日	とよなか国際交流センター登録グループとの連絡会議を 4 回開催し、実行委員会形式を重ね、地域の国際交流団体がともに考え創る「第 1 回とよなか国際交流フェスタ」を 2015 年 9 月 5 日(土)と 6 日(日)の両日に開催することができた。また、2016 年度も実行委員会形式をもって、さらに充実した「第 2 回とよなか国際交流フェスタ」を 9 月 10 日(土)に開催することを決めた。 市民団体の環境向上にむけ、具体的な要望のヒヤリングや意見交流を行い、様々な課題を共有した。

◆しょうない REK への協力

2005 年、豊中市の「市民公益活動推進条例」に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうない REK」が立ち上げられた。(しょうない REK は R:Recycle リサイクル、E:Event イベント、K:かわら版を合わせた造語)。特に豊中市南部地域での連携を重点化するため、実行委員会に定期参加し、瓦版の執筆やイベントへの参加を行った。また、2015 年度は昨年度に引き続き、庄内にて外国人親子を対象とした高校進学説明会の中心メンバーとしてかかわった。

<実行委員会>

開催日	4 月 16 日、5 月 21 日、6 月 11 日、7 月 16 日、9 月 17 日(欠席)、10 月 15 日(欠席)、11 月 19 日、12 月 17 日、1 月 21 日(欠席)、2 月 18 日(欠席)、3 月 12 日 (計 11 回、うち 7 回出席)
場 所	庄内図書館

<その他>

- ・外国人親子に向けた高校進学説明会@しょうない開催(庄内公民館) 7 月 12 日
- ・「ええやん! しょうない瓦版(10 周年記念号)」17 号刊行・配付 2016 年 1 月 23 日
- ・「国際交流フェスタ」古本バザー(とよなか国際交流センター)9 月 5 日・6 日

◆市民団体との連携および運営支援

地域で活動する国際交流目的の市民団体の活動支援を随時実施した。

- ・国際交流センターの登録グループ（25 団体）との連絡会議を 4 回開催し、ニーズの把握を行った。
- ・団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。市民団体の運営協力（「国際交流の会とよなか」日本語学習プログラム運営委員として定期的に参加）も行う他、市民団体との事業に共催・後援を行った。

◆その他

- ・今年度も昨年度に引き続き、市民活動情報サロンと男女共同参画推進財団ととよなか国際交流協会の三者による豊中駅前活性化を推進するために、「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ！」を企画したが、雨天のために中止となってしまった。来年度も継続して企画運営することになっている。
- ・地域の各市民団5社（とよなか男女共同参画推進財団・とよなか市民環境会議アジェンダ' 21・とよなか人権まちづくり協会・市民活動情報サロン・とよなか国際交流協会）が開催するメディアリテラシー事業を「豊中つくるプロジェクト」とし、相互に広報・参加することにした。

実施日	タイトル	主催
8月25日	「映像製作教室～活動PR映像をつくってみよう～」	市民活動情報サロン
10月13日	まわしよみ新聞「自分たちで新聞をつくりながら、メディアについてかんがえませんか？」	とよなか人権まちづくり協会
12月12・19日	メディア入門「～メディアで発見！こんなところに『日本人』～」	とよなか国際交流協会
1月28日	「メディアでおしゃべり～アニメCMのパワーと子どもたち～」	とよなか男女共同参画推進センター
3月6日 3月18日	環境コミュニケーション講座 その①「伝わるポスターの作り方」 その②「自分の言葉で語る映像制作ワークショップ」	とよなか市民環境会議アジェンダ' 21

- ・豊中市スポーツ振興事業団との協働で、「外国人のためのからだほぐし体操」をとよなか国際交流センターにおいて 5 回（10/16,12/11,1/8,2/12,3/11:計 69 人参加）開催した。来年度は、スポ振事業プログラムの『サムライプロジェクト』で、外国人に日本の武道を体験する場を提供する予定になっている。
- ・とよなか男女共同参画推進財団が行った「とよなか女性防災プロジェクト 2014」のその後の会議に、とよなか国際交流協会も、「女性と防災を考える会」委員会のメンバーとして参加した。

(3)留学生ホストファミリー事業

- ◆世話人会定例会(メンバー9人) 毎月第3木曜日 全12回実施
- ◆交流会実行委員会定例会(メンバー8人):毎月第2木曜日(ただし8月、12月、1月、2月除く)全8回実施
- ◆ホストファミリーボランティア数:登録家族121家族

<登録説明会>(単位:家族)

実施日	参加家族数	登録家族数	新規登録家族総合計
4月12日	22	11	44 家族
6月14日	18	12	
2月14日	8	6	
3月13日	24	15	

◆留学生とのマッチング数(単位:組)

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	22	39	63	89
JASSO	26	—	26	

◆交流会企画

(単位:人)

実施日	内容	参加者数	留学生数	参加者総数
4月25日	アサビール吹田工場見学と旧西尾邸見学	16	9	25(10 家族)
5月25日	万博で遊ぼう! 日本庭園見学	84	30	114 (家族)
7月12日	イスラムについて学ぼう!	7	0	7
9月27日	BBQ	21	5	26(9 家族)
10月18日	着物体験会	20	13	33 (11 家族)
10月25日	和菓子作り体験&京都散策	9	5	14(7 家族)
11月7日	ポットラックパーティ(すてっぷホール)	52	34	76 (22 家族)
	合計	209	96	305

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等

(単位:人)

実施日	学校名	内容	参加者数
4月7日	大阪大学	春期対面式①	64
4月18日	大阪大学	春期対面式②	9
5月9日	JASSO	対面式	105
8月4日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
9月11日	大阪大学	日本語日本文化研修生修了式	1
9月17日	JASSO	スピーチコンテスト	2
9月25日	JASSO	打合せ	3
9月29日	大阪大学	秋期対面式①	49
10月6日	大阪大学	秋期対面式②	9
10月10日	大阪大学	秋期対面式③	61
12月18日	JASSO	国際交流フェス	3
2016年2月19日	大阪大学	留学生支援連絡協議会	8
2月25日	JASSO	来期についての打合せ	3
3月4日	大阪大学	OHP 連絡協議会	2
3月14日	大阪大学	学部留学生修了式	2
3月13日	JASSO	卒業式	2
合 計			326

◆ニューズレターの発行(年3回)

<主な掲載内容>・特集(毎月号)/ホストファミリーと留学生の交流体験談/留学生コラム/いわせてあれこれ～交流に関するいろいろなお話～/活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	いわせてあれこれ
7月2日	57号	ちょっと個性的な博物館&美術館紹介	セネガル パナマ	日本に来て驚いたこと・感動したこと
12月3日	58号	世界のお料理レシピ ～中南米編～	ギニア共和国 セルビア共和国	留学生と行ったところ
2015年 3月3日	59号	世界のお料理レシピ ～中東編～	グアテマラ チェコ	—

◆協会イベント「とよなか国際交流フェスタ」への参加(9月5,6日の「バザー手伝い」)

2. おとな国際事業

(1)にほんご活動事業

①もっともっとなつかえるにほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん

日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営され、外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流をはかる場として週4日定着して開催した。

事業名	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数(うち外国人)	のべ実施回数
もっともっとなつかえるにほんご	月曜	10:00～12:00	490人(205人)	41回
とよなかにほんご・木ひる	木曜	13:30～15:30	1718人(793人)	47回
とよなかにほんご・金あさ	金曜	10:30～12:00	3,465人(1,542人)	47回
にちようがちゃがちゃだん	日曜	10:00～12:00	688人(500人)	37回
総合計			6,361人(3,040人)	172回

◆交流活動・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加人数(うち外国人)
もっともっとなつかえるにほんご	9月5日	クレープづくり(とよなか国際交流フェスタ)	8(1)
	10月26日	JICA 見学、体験	40(28)
	12月21日	年末お楽しみパーティー	14(2)
とよなかにほんご・木ひる	4月2日	お花見	18(7)
	7月30日	料理会 ー世界の料理ー	36(17)
	12月17日	ポットラックパーティー	40(16)
とよなかにほんご・金あさ	12月18日	お楽しみ会、バザー	55(22)
	1月15日	正月あそび	76(27)
	2月5日	料理会 中国料理	40(30)

にちょうがちゃがちゃだん	6月7日	カラオケ	9(6)
	9月20日	寿司パーティー	29(26)
	12月13日	遠足	24(17)
	12月20日	茶話会	26(18)
	総合計		415(217)

②おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人の居場所を提供するため、岡町図書館、庄内図書館、千里図書館において、国際交流センター以外の公的な場で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

【おかまち・しょうない・せんり/おやこでにほんご】 参加者合計 1,449人(うち外国人 599人)

◆おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館3階、とよなか国際交流センターなど		
活動期間	2015年4月14日～2016年3月15日までの34回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間(68時間)		
人数	ボランティア登録者数(8人)、のべ参加者数(417人)		
うち外国人おとな	78人	うち外国人こども	77人
うちボランティアおとな	171人	うちボランティア子ども	91人

●活動内容

実施日	内容	実施日	内容
4月14日	おしゃべり会	10月6日	おしゃべり会
4月21日	おりがみ	10月13日	お料理会(タイカレー)
4月28日	物々交換	10月20日	おしゃべり会
5月12日	アクリルたわし作り	10月27日	みかん狩り
5月19日	お料理会(おにぎらず+蕘大福)	11月10日	おしゃべり会
5月26日	おしゃべり会	11月17日	クラフト(つまみ細工)
6月2日	プレ幼稚園について	12月1日	お楽しみ会(庄内・千里と合同)
6月9日	虫よけスプレー	12月8日	お料理会(ジンジャービスケット)
6月16日	紙芝居・読みきかせ	1月19日	おしゃべり会
6月23日	新Vさん歓迎会	1月26日	おしゃべり会(童謡&手遊び)
6月30日	お料理会 そうめん、フルーツ寒天	2月2日	節分の豆まき、お面作り
7月7日	七夕クラフト	2月9日	羊毛フェルト
7月14日	おしゃべり会	2月16日	おしゃべり会
9月1日	おしゃべり会	2月23日	リミック
9月8日	幼稚園入園の情報交換	3月1日	お料理会(ちらし寿司)
9月15日	お月見について	3月8日	おしゃべり会
9月29日	おもちゃ作り	3月15日	おしゃべり会

◆しょうない・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立庄内図書館3階研究室、公民館、公民館調理室など		
活動期間	2015年4月14日～2016年3月15日までの35回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間数(70時間)		
人数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(397人)		
うち外国人おとな	93人	うち外国人こども	49人
うちボランティア大人	158人	うちボランティア子ども	97人

●活動内容

実施日	内容	実施日	内容
4月14日	お誕生パーティー	10月20日	野菜収穫体験
4月21日	おしゃべり会	10月27日	おしゃべり会・公園遊び
5月12日	おしゃべり会	11月10日	大型絵本の読み聞かせ
5月19日	お悩み相談	11月17日	ブックカバーで紙袋作り

5月26日	子育ての話、新人研修打ち合わせ	11月24日	3地区おやこ交流ワークショップ
6月1日	ピクニック、青空ビビンバ	12月1日	おたのしみ会
6月4日	新人ボランティア研修	12月8日	おもちゃの整理整頓
6月8日	新人ボランティアさん見学	12月15日	クリスマスパーティー
6月23日	新人ボランティアさん見学	1月19日	おしゃべり会
6月30日	メイクアップレッスン	2月2日	節分お菓子まき
7月7日	気功のレッスン、笹飾りつけ	2月9日	わこちゃん体操
7月14日	プラバンの打ち合わせ	2月16日	キッズランド庄内打ち合わせ
8月25日	夏休みプラバン作り(園児参加)	2月23日	おしゃべり会
9月6日	国流イベントでプラバンコーナー	2月28日	キッズランド庄内フリマ・チヂミ屋
9月8日	物々交換	3月1日	フリマ荷物片付け
9月15日	物々交換、フリマ残り物整理	3月8日	わこちゃん体操・持ち寄りパーティー
9月29日	ブックカバーで紙袋作り	3月15日	おしゃべり会
10月6日	わこちゃん体操		

◆せんり・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立千里図書館集会室		
活動期間	2015年4月14日～2016年3月15日までの32回		
活動時間	毎週火曜日午前10時～12時、総活動時間数(64時間)		
人数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(635人)		
うち外国人おとな	172人	うち外国人子ども	130人
うちボランティア大人	227人	うちボランティア子ども	106人

●活動内容

実施日	内容	実施日	内容
4月14日	お料理会(ベトナム料理)	10月20日	ハロウィンパーティー
4月21日	おしゃべり会	10月27日	みかん狩り@山本農園
4月28日	かぶと作製・占い・耳つぼマッサージ	11月10日	おしゃべり会
5月12日	お料理会(キャラクター弁当)	11月17日	お別れ会・10月・11月・12月お誕生会
5月19日	豊南市場へ遠足	12月1日	合同パーティ@国流
5月26日	おしゃべり会	12月8日	お料理会(水餃子・焼餃子・お粥)
6月2日	物々交換	12月15日	お正月の飾り(折り紙)・お茶会
6月9日	バザー・おしゃべり会	1月19日	プロフィールカード作り(写真撮影)
6月16日	食育講座	1月26日	おしゃべり会
6月23日	お料理会(卵焼き・おにぎり)	2月2日	節分イベント(豆まき・恵方巻き)
6月30日	手芸(あずま袋)	2月9日	バレンタインカード作成
7月7日	七夕・5.6.7月生まれお誕生会	2月16日	おしゃべり会
9月8日	おしゃべり会	2月23日	お料理会(お弁当・春雨サラダ)
9月15日	お月見の会	3月1日	お雛祭り・おしゃべり会
9月29日	お料理会(お好み焼き)	3月8日	お疲れ様&お別れ&歓迎会
10月6日	おしゃべり会	3月15日	遠足(マムズフェスタへ行こう)

◆フォローアップ研修

日程	2015年11月24日(火)午前10時～12時
場所	とよなか国際交流センター C.C.スペース
ファシリテーター	山本愛(とよなか国際交流協会職員)
テーマ	活動のふりかえり&3 おやこ間の課題を共有するワークショップ
参加者数	24人

◆職員研修の受け入れ

日程	2014年9月10日
内容	豊中市職員2年目研修
参加人数	のべ6人
受入先	「とよなかにほんご・木ひる」

◆豊中市の教育行政・関係者との連携(識字・日本語豊中連絡会): 5月18日、10月2日

◆その他

日程	内容	場所
6月12日	大阪府識字・日本語学習担当者連絡会議 豊能ブロック教室見学 (公財)とよなか国際交流協会 とよなかにほんご金あさ	とよなか国際交流センター
11月16日	識字・日本語豊中連絡会 社会見学 見学先「大阪音楽大学音楽博物館とマリンフード株式会社」	大阪音楽大学 (株)マリンフード
1月22日	識字・日本語学習活動支援 市町村域を超えた取組みプラン	とよなか国際交流センター
1月23日	識字・日本語豊能ブロック 交流会 日本語ボランティア研修会	池田市保健福祉総合センター
1月30日	第2回 識字・日本語学習研究集会 発表:D分科会 リレートーク	大阪教育大学天王寺キャンパス

(2)多文化共生推進事業

◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人を対象に異文化にふれる機会づくりとして、また講師となる外国人のエンパワメントにつながる機会づくりとして世界を食べようを開催した。今年度より、多文化共生推進事業として実施。講師は、地域在住の外国人が担当した。今年度は3回の開催。(会場はすべてとよなか国際交流センター料理室)

実施日	内容	参加者数(うち外国人)
6月25日	第1回 スリランカ編	9(1)
7月16日	第2回 韓国編	7(2)
7月23日	第3回 インドネシア編	9(3)
		25(6)

◆多文化・多言語セミナー

近隣地域在住の日本人向けに異文化理解・多文化共生理解促進のための講座を開催した。センターでの座学だけでなく、フィールドワークを行い「体験」を重視した。今年度より、多文化共生推進事業として実施。今年度は2回の開催。

実施日	内容	参加者数(うち外国人)
6月13日	イスラーム講座(モスク見学とハラールフード体験)	26(1)
10月17日	コリアタウン フィールドワーク	14(5)
		40(6)

◆通訳派遣

2014年度に実施したコミュニティ通訳ボランティア養成講座を受講して登録したボランティアを、地域中間支援組織からの外国人支援要請案件に応じて派遣した。今年度は3件の要請に、中国語ボランティアを派遣した。

◆外国人のための茶道教室

2014年度より、地域の外国人が日本文化にふれる機会づくりとして、茶道教室を開催している。今年度より、多文化共生推進事業として実施。講師は、裏千家の免状を持つ協会ボランティアが担当した。今年度は季節ごとの開催とした。(会場はすべてとよなか国際交流センター和室) ボランティアは毎回2人

	実施日	参加者数(うち外国人)
第1回(春)	4月18日	10(7)
第2回(夏)	7月18日	9(7)
第3回(秋)	10月17日	9(6)
第4回(冬)	2月13日	9(6)
		37(26)

3. 持続可能な地域づくり事業

(1)メディア・リテラシー市民ゼミナール

◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	2015年12月12日(土)、19日(土)
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	のべ22人(うち外国人7人)
テーマ	メディア入門講座～メディアで発見!こんなところに「日本人」～
講 師	田島知之さん(京都府立大学非常勤講師)／登丸あすかさん(文京学院大学助教)
ワークショップ内容	・メディアリテラシーとは何か ・テレビを「分析」してみよう ・メディアが構成する「現実」 ・メディアが提示する価値観 ・オルタナティブな視点 ・コミュニケーションをつくりだす ・オルタナティブメディア作品『ぼくと沖縄と みんな』(ていげ一部)上映と分析

●実施内容詳細

(1)参加者同士の「対話の文化」を作る。(2)参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得する。(3)マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の促進を目指している。

2015年は、メディアリテラシーに初めて接する人にも参加しやすいよう「メディア入門講座」として、講義やテレビ分析を中心に実施した。また日程も、土曜日の午後の時間帯に二週連続開催とし、より多くの人が参加できるように工夫をこらした。

(2)持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し2005年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESDとよなかは、豊中市(関係5課)と市民活動中間支援団体(6社)が事務局会議を行いながら、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。今年度は、新たな10年のに向けてESDとよなか連絡会議をスタートさせるよう体であったが、各構成団体の内部論議が不十分であることから、次年度の課題として持ち越された。一方で、ESDセミナーはテーマを「あなたもクリエイター!～日常と社会を変える選択～」とし、3月17日と3月27日の2日に亘って開催した。セミナー①では、買い物と失業、預金と戦争、私たちが日常選んでいるものと社会問題が繋がっていることを、岩崎裕保さん(開発教育協会前代表理事)の講演を通して、私たちの日常の選択がどう社会に影響しているかを参加者と一緒に考えた。セミナー②では、買い物や寄付など、日常の選択により社会を変えることができることに気づくワークショップを行なった。この2回のセミナーにより、ESD活動の大切さと意義深さを再確認でき、地域の人々と顔の見える形で出会い、連携を深めることができた。

◆2015年度 ESDとよなか連絡会議

実施日	参加者数	開催場所	構成団体&機関名
8月27日	13(1)	すてっぷセミナー室	NPO法人 とよなか市民環境会議アジェンダ21
10月1日	12(1)	環境交流センター	一般財団法人 とよなか人権文化まちづくり協会
10月29日	5(1)	とよなか国際交流センター	一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団
11月5日	11(1)	とよなか国際交流センター	公益財団法人 とよなか国際交流協会
1月12日	6(1)	とよなか国際交流センター	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
2月25日	10(2)	とよなか国際交流センター	赤ちゃんからの ESD、環境政策課、
3月17日	15(1)	とよなか国際交流センター	市民協働部 千里地域連携センター、
3月27日	18(0)	とよなか国際交流センター	人権政策課、人権教育課、生涯学習課
合 計	90(8)		

◆防災訓練、セミナー等

東日本大震災5年目を迎え、豊中市や大阪国際交流財団(OFIX)との共催、豊中市社会福祉協議会後援で、3月11日に「大規模災害時における外国人支援セミナー」を開催し、豊中市危機管理課より豊中の災害時外国人支援の現状と課題を明らかにしてもらい、時光さん(NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会事務局長)より、災害時の外国人が抱える問題や支援の方法などを講演いただき、参加者で災害時にどんなことが必要かを考えるワークショップをして、今できることと今後の課題を整理をした。最後に、来年度からもこのようなセミナー引き続き開催し、多言語支援情報・支援センターにつなげたいとの意見も出された。

11月26日には、エトレビル5階の男女共同参画推進財団(ステップ)との職員合同の火災避難訓練を行った。また、地域連携の一環として、今年度も豊中市(環境部)が実施する美化啓発行事など監督に積極的に職員や外国人ボランティアが参加した。また、すてっぷ・国流の職員合同火災訓練により、ビル火災時の危機管理と防災意識を高める取り組み:救急通報や消火器訓練などについて実践的に学んだ。

実施日	内 容	場 所	参加者数 (外国人)
6月25日	クリーン作戦①「駅前周辺清掃活動」 (豊中市美化啓発行事への参加)	阪急岡町駅前付近	3(2)
6月29日	とよなか市民環境会議	青年の家 いぶき	1(1)
11月13日	クリーン作戦②「駅前周辺清掃活動」	阪急豊中駅前付近	0(0)
11月26日	エトレビル5・6階すてっぷ・国流職員合同の火災訓練	エトレとよなかビル	29(5)
3月11日	大規模災害時における外国人支援セミナー	とよなか国際交流センター	47(10)

◆その他 国際理解教育などの講師の派遣など <のべ42件、82人を派遣>

	実施日	派遣先、内容	講師	人数
1	毎月1日	庄内神社幼稚園(国際理解)	フランス	1
2	5月1日	大阪市人権教育研究協議会(全体研修会)	職員(韓国・朝鮮)	1
3	6月8、10日	豊中市立新田小学校(国際理解)	フィリピン	1
4	6月10日	豊中市立小中学校教育研究会生活・総合研究会(外国の遊びや文化を体験する)	ペルー	1
5	6月15日	豊中市立のばたけこども園(在日イスラームの生活や課題について)	職員	1
6	6月19日	豊中市立第十一中学校(国際理解)	フィリピン(2)、中国、韓国、ペルー、フランス、スリランカ、タイ	8
7	6月18日～	大阪府立豊中支援学校(中学部・高等部)(英語学習)	フィリピン	1
8	7月2、9日	阪大院内学級 刀根山分教室①(英語学習・国際理解)	フィリピン	1
9	8月3日	八尾市立刑部小学校(教職員向け夏季研修)	職員(韓国・朝鮮)	1
10	8月3日	箕面市外国人教育研究協議会	職員(韓国・朝鮮)	1
11	8月6日	豊中市教職員2年目研修	職員	1
12	8月14日	すてっぷ(情報誌作成のための意見交流会)	職員	1
13	8月24日	吹田市外教 夏季研究会(フィリピンの文化、ルーツを持つ子どもへの支援について)	フィリピン	1
14	8月24日	高槻市立柳川中学校(教職員研修)(在日外国人の人権と生活の現状)	職員(韓国・朝鮮)	1
15	9月8日	猪名川町立松尾台小学校(PTA研修①)	ペルー	1
16	9月8日	大阪府立箕面東高等学校①(異文化交流入門)	アメリカ	1
17	9月14日	守口市立大久保中学校(人権研修)	スリランカ	1
18	9月24日	大阪府立三国中学校(人権学習)	職員(韓国・朝鮮)	1
19	10月20日	高槻市立柳川中学校(人権学習・国際理解)	フィリピン(2)、韓国、フランス	4
20	10月22日	箕面市在日外国人教育研究会(多文化共生教育)	職員(韓国・朝鮮)	1
21	10月24、25日	三重県教職員組合研究集会(多文化共生教育)	職員(韓国・朝鮮)	1
22	10月28日	茨木市立豊川中学校(多文化共生)	ネパール、中国、フランス、エジプト、フィリピン	5
23	10月30日	豊中市人権政策課(事業者向け研修)	職員	2
24	11月11、12日	豊中市立第二中学校(ボランティア体験学習)(国際理解「外国の友だちとどうかかわる?」)	マレーシア	1
25	11月12日	大阪府立豊中高等学校(人権学習)	フィリピン、エジプト、フランス(2)、韓国、中国、タイ、アフガニスタン、モンゴル	9
26	11月13日	東大阪市立孔舎衛中学校(人権学習)	フィリピン、アメリカ、職員(韓国・朝鮮)	3
27	11月17日	猪名川町立松尾台小学校(PTA研修②)	職員(韓国・朝鮮)	1
28	12月13日	愛知医科大学(多文化コミュニティにおける母子保健/子育て支援)	職員	1

29	12月16日	豊中市立蛭池小学校(異文化理解)	インド	1
30	1月15日	豊中市立第二中学校①(1年生国際理解)(全体向け)	職員(韓国・朝鮮)	1
31	1月21日	大阪府立池田高等学校(人権教育)	フランス、タイ、韓国、ドイツ、モロッコ	5
32	1月23日	大阪市立敷津小学校(International Day 世界の紙芝居ブース担当)	タイ	3
33	1月25日	(公社)子ども情報研究センター(家庭支援員研修)	職員	1
34	1月26日	大阪府立箕面東高等学校②(異文化交流入門)	アメリカ	1
35	1月27日	クレオ大阪子育て館(地域子育て活動者研修)	中国	1
36	1月29日	豊中市立第二中学校②(1年生国際理解)(各クラス)	フランス、インドネシア、中国、フィリピン、韓国	5
37	2月8日	一般財団法人大阪府人権協会	職員	1
38	2月10日	豊中市立第四中学校(国際理解・多文化共生)	フランス、韓国、フィリピン、ペルー、インドネシア	5
39	2月25、26日	阪大院内学級 刀根山分教室①(英語学習・国際理解)	モロッコ	1
40	2月23日	淀川区子ども子育てプラザ(地域支援者向け研修)	韓国	1
41	3月4日	豊中市立第四中学校(夜間)(教職員研修)	職員(韓国・朝鮮)	1
42	3月3、4、8日	大阪府立桜塚高等学校(韓国語学習)	韓国	2
合計				82

◆その他 ネパール大地震緊急支援募金の実施

4月25日と5月12日に起こったネパール大地震の緊急募金を実施した。募金の送り先は、カーストの最底辺に位置づけられ、ネパール社会において周縁化されている被差別カースト「ダリット」の女性当事者団体「FEDO(フェミニストダリット協会)」。FEDOが実施するダリットの被災者への支援活動に対して、募金総額520,366円(内15,336円は2017年度送金予定)を寄付し、被災地域の緊急支援物資の配布や仮設住宅の建設費用、職業訓練等に役立ててもらった。

報告会として、5月16日には、被災地を訪れた元ジャーナリストの小倉清子さんを迎えての報告会をアジア友好ネットワーク、NPO法人国際交流団体未来、NPO法人国際交流の会とよなかと共催した(参加者130人)。また10月15日には協会理事の榎井縁さんによる被災地ならびにFEDOの取り組みに関する報告会を開催した。(参加者28人)

4. 持続可能な人づくり事業

(1) ボランティア研修事業

◆2015年日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	9月12日	①とよなか国際交流境界の取り組み	とよなか国際交流協会 山本愛	34(3)
		②外国人と共に暮らす～「戦後70年」に考える	飛田雄一さん(神戸学生青年センター)	37(3)
第2回	9月13日	③異文化理解・多文化共生のための参加型の学び	佐藤友紀さん(開発教育協会)	33(1)
合計				104(7)

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しようない・おやこでにほんご」、「多文化保育にこにこ」のボランティアとして活動し始めた。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

<時間はいずれも 10 時～12 時>

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第 1 回 5 月 21 日	子どもの貧困～誰もが SOS を出せる社会へ	徳丸ゆき子さん (大阪子どもの貧困アクショングループ代表)	33(0)
第 2 回 5 月 28 日	傾聴とは？～聞くことからはじめるボランティア	水田恵美さん (株式会社ひとまち)	37(0)
第 3 回 6 月 4 日	とよなか国際交流協会の取り組みと “おやこでにほんご”活動紹介	山根絵美(とよなか国際交流協会職員) おやこでにほんごのボランティア	41(3)
合計			67(6)

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

市民感覚で、提案されたテーマについて参加者みんなで問うたり、意見を出し合うスペースづくりを、フランス発祥の「哲学カフェ」を実践しているカフェ・フィロや大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室の教員、大学院生、大学生と共に創出した。隔月で開催する哲学カフェも 7 年目を迎え、幅広い市民層を迎え入れながら定着してきた。2015 年度は、昨年度に引き続き、ミーティングでカフェ・フィロ、協会職員が一緒に話し合いテーマを決定した。また、チラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第 1 回	5 月 16 日	「心細い」ってどういうこと？	金和永(大阪大学大学院)	17(2)
第 2 回	7 月 18 日	ひとの力になるってどういうこと？	川崎唯史(大阪大学大学院)	15(1)
第 3 回	9 月 19 日	性別ってなんなの？	菊竹智之(大阪大学大学院)	20(1)
第 4 回	11 月 21 日	あなたの小さな悩みを(解決はできないけれど)みんなでいっしょに話しあって考えます。	桂ノ口結衣(大阪大学大学院)	13(1)
第 5 回	1 月 16 日	送ること送られることーお葬式は、誰のため？ー	高原耕平(大阪大学大学院)	20(4)
第 6 回	3 月 19 日	「ほめる」ってなに？	鈴木径一郎(大阪大学大学院)	18(2)
合計				103(11)

◆多様な支援をする人のための対話の会

教員や市民団体で活動するスタッフ・ボランティアなど支援者向けの対話の会を、カフェフィロの協力をうけて開催した。対人支援にかかわる悩みや考えを安心して発言できる空間で共有し、解決をはかる場とした。

<進行役は高橋綾さん(カフェフィロ)>

	実施日	参加者数(人)(うち外国人)
第 1 回	4 月 4 日	6(2)
第 2 回	6 月 27 日	6(2)
第 3 回	8 月 22 日	5(2)
第 4 回	10 月 24 日	6(2)
第 5 回	1 月 30 日	5(2)
		28(10)

◆学生受け入れ

大阪大学未来共生機構第五部門未来共生イノベーター博士課程プログラム「公共サービス・ラーニング」の一環として、以下 1 人の学生を受け入れた。

大阪大学人間科学研究科	S.T さん	図書整理業務、「おまつり地球一周クラブ」運営業務、多文化フェスティバルにおける企画運営、など
-------------	--------	------------------------------------------------

◆マイノリティの人権から共生社会を考える連続セミナー

部落問題および、人権の視点でまちづくりをすすめることの重要性や、北京女性会議からの 20 年間をふまえて、マイノリティ女性の視点からみた日本社会の課題について知り、日本社会が抱える構造的な問題と私たちのかかわりについて考える。そして、あらゆる差別の撤廃を地域からすすめる、すべての人びとがいかにされるまちづくりを豊中で実現するためどう行動できるか、話し合った。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 6/20 15:00～17:00	「それぞれの部落問題～にんげんのまちづくりの取り組みから」	山本義彦さん(社会福祉法人あさか会理事長)／角岡伸彦さん(フリーライター)／大源文造さん(豊中市教育長)	31(3)
第2回 6/27 15:00～17:00	「北京女性会議から20年」	藤岡美恵子さん(法政大学)／皇甫康子さん(小学校教員)／榎井縁さん(大阪大学)	26(4)
第3回 7/4 15:00～17:00	「気づき・学びから行動へ」	金相文(とよなか国際交流協会事務局長)／西村寿子さん(すてっぷ)	16(3)
合 計			73(10)

◆市民セミナー

今年度より地域で人権課題に取り組む人を招き、国際のみならず幅広いテーマで学びを深め、多文化共生社会をつくる人づくりを目的とした市民向けセミナーを開催した。日中は仕事等でセンターの行事に参加できない層の参加も多く、利用者の幅が広がった。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
6月12日 18:30～20:00	「とよなか国流 そして、それぞれの歩み」	榎井縁(大阪大学)、朴隆二(スタベコ 1船長)	25(5)
10月23日 18:30～20:00	フィリピンルーツの青年の歩みから見える日本(移住)社会	ラボルテ雅樹(とよなか国際交流協会若者支援事業コーディネーター)	38(11)
2016年 1月23日 18:30～20:30	「ぼくと沖縄と みんな」上映会	黒島トーマス友基(とよなか国際交流協会若者支援事業コーディネーター)	32(11)
合 計			95(27)

◆ボランティア説明会

協会実施事業の紹介およびボランティアになるための方法(養成講座の案内等)について情報提供した。

実施日	内容	参加者数
5月9日(土)14:00～15:30	外国人のおかれている状況および協会事業説明／各事業紹介	38

5. 子ども国際事業

(1)おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊びを通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。2015年度は開催回数が例年に比べて少なかったが、登録団体との共催に初めてチャレンジしたり、実験イベント企画で好評を得たり、と次年度につながる試みができた。

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
			子ども	外国人	
第1回	7月26日	シンチャオ!ベトナム	16	8	4
第2回	8月10日	おやこ de クッキング!作ってみよう韓国料理	12	6	5
第3回	8月17日	エジソン電球とかんたん科学実験	40	24	5
第4回	12月12日	ペルーのクリスマスパーティー	41	32	5
第5回	3月31日	フィリピンをしろう!!	23	14	4
総合計			132	84	23

(2)チョアチョアハングル講座

ハングル学習を通して一番近い国の文化を体験・学習するプログラムは「うきうきハングル」として地域に住む子どもたちに長年親しまれてきた。この数年は韓国出身の講師やボランティアの都合が合わず開催していなかったが、2013年度からおまつり地球一周クラブの中で、「チョアチョアハングル」としてリニューアル開催している。今年度は6月～2月の第4土曜に実施し、計5回開催した。 <指導者:キルドンソク>

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
				子ども	外国人
第1回	6月27日	韓国式あいさつ、自己紹介、民族衣装を着よう	27	16	6
第2回	7月25日	韓国スイーツを作ろう～ハッピー～	32	15	7
第3回	10月24日	コリアタウンへ行こう	13	4	3
第4回	1月23日	楽器・テコンドー	15	7	4
第5回	2月27日	市場ごっこ	17	9	2
総合計			104	51	22

(3)韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。<民族講師(ソンセンニム):金生遵、柳敬修、姜正美>

	日程	内 容	参加者数(うち外国人)	先生(うち外国人 ※ソンセンニム含む)
—	4月18日	実行委員ミーティング	—	7(3)
第1回	5月16日	開講式・自己紹介・ハングル名札づくり・あそび	12(12)	12(3)
第2回	6月27日	ウリナラの七夕	9(9)	11(3)
第3回	9月19日	秋夕(チュソク)・絵を描こう	5(5)	7(3)
第4回	10月17日	友だち展の絵・タルチュムノリ	5(5)	9(4)
第5回	11月21日	タルチュムノリ(仮面をつけた踊り)	9(9)	9(4)
第6回	12月19日	キムチを作ろう	22(14)	12(5)
第7回	1月16日	ノリゲを作ろう	10(10)	12(5)
第8回	2月20日	1年のふりかえり感想文	7(7)	11(5)
第9回	3月19日	修了式	12(12)	16(5)
合 計			91(83)	106(40)
総合計			197(123)	

◆ハギハッキョ(夏期学校)

日程	名前	場所	参加者
7月28・29日	小学生のハギハッキョ	豊中市立千成小学校	76
8月6日・7日	ハギハッキョ・キャンプ	豊中市青少年自然の家わっぱる	29
総合計			105

Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談		相談件数(臨時通訳含む)計: 973 件
毎週金曜日	11:00~16:00	
相談員	吉嶋かおり(臨床心理士)	
就労相談コーディネーター	植木美恵子	
多言語スタッフ	中国語	賈晨
	韓国・朝鮮語	朴貞淑
	フィリピン語・英語	平松マリア
	タイ語	ラッタナセリーウオン・センティアン
	ベトナム語	グエン・ティ・ジェム・ニュン/グエン・ティ・ジェム・ミン
	スペイン語	滝本クラウディア
	インドネシア語	カスイ・プリスカ・サフィトリ
臨時通訳	臨時通訳件数: 5 件	

◆相談件数

2015年度の相談件数は973件、前年度が948件だったため、前年度比2.6%増だった。約2倍に増加した2014年度とほぼ同件数であった。問題の解決が一回の相談対応で終わらず、継続が必要な相談が多く寄せられていること、2014年度から支援が継続している裁判ケースに加え、他の裁判ケースの支援も増加していることなどが、相談件数の2年連続増加状況の背景として挙げられる。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、34.1%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が約65%を占めた。大阪府下全域では79.1%であり、この割合は例年と変わらない。他に、近畿の他府県だけでなく、電話やメールで全国、海外からも相談が寄せられている。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く49.6%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、継続対応が必要な相談内容が多い。長年実施してきているため、口コミで相談につながっている。次いで中国が6.8%、韓国5.4%、ペルー5.1%となっている。日本国籍者からの相談も多く、9.3%を占めている。日本と外国の二重国籍者が7件(未成年)、日本国籍だがルーツが日本以外の方は67件だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は40件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは303件(約30%)、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語(母語)とするものは30件、3カ国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は33カ国に及んだ。

在留資格は定住者39.5%、永住者11.3%、配偶者9.8%だった。

職業では介護職が18.1%、パート・アルバイトが15.3%、無職が13.9%だった。無職は生活保護受給者が多く、就労者はほぼ非正規労働者である。

<相談内容と件数> (1件の相談で複数の相談テーマがあるため、相談件数より母数は大きい)

大項目	件数	割合 (%)	昨年度件数 (増%)	小項目 <カッコ内は全件に占める割合 (%) >
夫婦関係	210	15.4	185 (113)	DV(2.2)、離婚(5.9)、親権・養育費(5.4)、不和・不満(1.2)、国際結婚(0.4)、その他(0.4)
手続き	148	10.9	145 (102)	在留資格など(5.1)、家族呼び寄せ(2.0)、養子(0.1)、日本国籍取得・帰化(2.3)、その他(1.4)
生活	346	25.4	328 (105)	日常生活(4.2)、行政手続き(8.0)、住居(5.6)、日本語学習(3.3)、金銭問題(2.6)、交通事故(0.3)、生活困窮(1.3) その他(0.1)
保健	53	3.9	54 (98)	メンタルヘルス(0.3)、医療(2.3)、母子保健(0.7)、その他(0.6)

人間関係	37	2.7	43 (86)	家庭(0.8)、友人(0.8)、地域(0.3)、職場(0.4)、その他(0.4)
労働	357	26.2	261 (137)	求職(5.1)、就労定着上の問題(1.7)、失業・退職(1.4)、労災(0.0)、給料未払(7.8)、その他(10.2)
子ども	151	11.1	100 (151)	子育て(2.3)、学校(5.4)、保育所・幼稚園(2.4)、その他(1.0)
その他	60	4.4	39 (154)	人権侵害(2.4)、その他(2.0)

※2015年度から、「手続き」の中に「日本国籍取得・帰化」と、「生活」の中に「生活困窮」の小項目を設けた。「日本国籍取得・帰化」はジャパニーズ・フィリピン・チルドレンの日本国籍取得手続きの相談がほとんどを占める。「生活困窮」の相談件数は18件だが、生保受給者の相談は約100件あり、約10%を占めている。

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は183件(18.8%)だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題、等であった。

豊中市	人権政策室、保健センター、子ども家庭相談室、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター(雇用労働課)、市民相談課
豊中市以外の自治体・学校	女性相談支援機関、他市DV担当、府・他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉事務所、公立高校、
公的支援機関	年金事務所、府・市社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	いくの学園、チャーム他支援団体、JFC ネットワーク、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、協会事業ボランティア、メディア、研究者

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
5月8日	改定入管法と在留資格についての勉強会 講師: 田代正義さん(行政書士)	13(10)
7月25日	【外部研修】移住女性の権利保障とエンパワメント 共催: ヒューライツ大阪、人種差別撤廃 NGO ネットワーク、反差別国際運動日本委員会	1(0)
8月9日	外国人技能実習生制度を知ろう 講師: 四方久寛さん(弁護士/マイグランド研究会)	40(12)
1月15日	相談の対応スキルについて 講師: 吉嶋かおり(相談員)	14(9)
合計		68(31)

◆外国人のための多言語セミナー／一日相談会

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。また、特定のテーマでの専門家による一日相談会も開催した。

実施日	テーマ 講師	参加者数 (人)
8月9日	外国人のための一日生活・労働相談会 相談員: 弁護士3人、行政書士1人、協会相談員2人、OFIX相談員1人 共催: 大阪府国際交流財団(OFIX)	22(21)

12月18日	行政書士による外国人のための無料相談会 相談員:行政書士3人 共催:大阪府行政書士会豊能支部	14(10)
2016年 2月12日	外国人のための確定申告相談会 相談員:税理士1人	7(7)
3月4日	中国交流会 ファシリテーター:賈晨(協会中国語多言語スタッフ)	52(48)
3月25日	外国人女性向けセミナー「もっと幸せになるための夫婦間コミュニケーション講座&無料健康相談会 講師:阪幸江さん(臨床心理士) 共催:NPO法人チャーム、協力:豊中市保健センター	48(39)
合計		143(125)

◆地域連携

実施日	内容
6月26日、1月29日	豊中市 保健師会への参加・情報提供(中部保健センター)
7月21日	子育て・育ち 克明校区連絡会
2月5日	DV防止ネットワーク会議 ケース検討会議
7月13日、12月18日	DV防止ネットワーク会議 実務担当者会議
6月23日	虐待防止ネットワーク会議
7月9日	人権相談機関ネットワーク会議
12月8日	大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議
7月21日、23日、27日、31日 8月3日、17日 2月23日、25日 3月1日、3日、7日、9日、10日	豊中市社会福祉協議会主催 地域福祉ネットワーク会議
1月27日	OFIXでの1日相談会実施団体によるふりかえり会議
3月8日	人権相談機関ネットワーク会議
	庄内図書館多言語利用案内の翻訳協力(3言語)
	豊中市スポーツ振興事業団の豊中市スポーツ施設案内の多言語案内翻訳協力(9言語)

◆シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない！無法地帯の協議離婚を考える」のフォロー

2014年度に実施したシンポジウムでは、協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から、勝手に離婚届を出されるという相談ケースをふまえて国際結婚の事例をもとに、協議離婚制度の問題について提起し、議論を深めた。今年度は当該ケースに関して共同通信社の取材を継続的に受入れ、全国の多くの地方紙に「勝手に離婚された」事例と協議離婚制度の課題が掲載され、相談事業から見えてきた課題についての問題提起を引き続き行った。

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009年度～2010年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語

参加者数	121人(うち外国人70人)	
サポートのべ回数	47回	
サポートのべ時間数	139時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導	
実施日	4月	7、14、28
	5月	12、19、22、26、
	6月	1、2、9、15、16、23、29、30
	9月	8、15、22、28、29
	10月	6、13、20、27
	11月	10、17、24
	12月	1、3

コーディネーター研修(むすびめ事業)で研修を受けたボランティアが中心となり、2011年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっともつつかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。毎週火曜日の開催とし、試験日の3ヶ月前からの実施をおこなった。

<協会/むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的実施した。

参加者数	のべ 32 人(うち外国人 5 人)
実施日	4 月 27 日、5 月 25 日、6 月 29 日、10 月 28 日、11 月 16 日、12 月 21 日、1 月 25 日、2 月 29 日

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談を周知するために情報コーナーを設置し、多言語(9 言語)で情報提供した。

2. 子どもサポート事業

(1)多文化子ども保育 “ここにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもや大人と接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語活動活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数	参加者数(のべ人数):うち外国人 ボランティア登録者数(のべ人数)
木曜日	13:30~15:30	45 回	3 人	子ども(105):うち外国人(105) ボランティア登録者数(123)
金曜日	10:30~12:00	47 回	5 人	子ども(358):うち外国人(358) ボランティア登録者数(180)
			合計	子ども(463):うち外国人(463) ボランティア登録者数(303)

◆豊中市子ども読書活動連絡会

豊中市では今年度より「豊中市子ども読書活動推進計画」を「こどもすこやか育みプラン・とよなかへ豊中市子育て・子育て行動計画」(子ども未来部)の中に組み入れられ、新たに「こども読書活動連絡会」を立ち上げ、年 2 回の報告会を持つこととなった。組織改編に伴う時間がかかったのか、年 2 回の報告会ということからか、10 月の会議と 3 月の会議のみとなり、実質的な推進活動が見えにくくなっている。

協会では、以降毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行った。これにより、読書活動において「外国人の視点」が地域課題のひとつとして認識されるようになり、図書館との連携という意味でも大きな意味があった。この動きを受け、協会内でも推進計画を具体的に進めていくために、「多文化子ども読書推進事業」を立ち上げ、「外国語絵本コーナー」の設置と 8 言語による「センター図書案内」を作成し、外国人の子どもが参加するすべての事業で、活動の中に読書推進の取り組みを盛り込むことに努めた。また昨年度より継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取り組みを始めており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境がとついている。

また、今年度も言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、多文化子ども保育にここにこ、おやこでにほんご(岡町・庄内・千里)、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。

<ハード面での環境整備>

- ① 外国語絵本コーナーの整理、周知
- ② 市立図書館の外国語図書を配架(半年毎に入れ替え)

<ソフト面での環境整備>

- ① 外国人親子の居場所づくり(おやこでにほんご)での読み聞かせ(母語・日本語)を行った。
- ② 多文化保育にここにこで、絵本の読み聞かせを行った。

実施日(内容)	場 所
11月25日 第1回子ども読書活動連絡会	いずれも 岡町図書館
3月10日 第2回子ども読書活動連絡会	

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として今年はパネル展示を行い、当協会が実施する子育て支援事業の広報をおこなった。(10月31日@すこやかプラザ/12月12日@庄内体育館)

(2)子ども母語教室

(公益目的事業名) 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業
こどもサポート事業

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(人)
第2日曜	2015年4月12日	10:00~12:00	92回	子ども(129)、ボランティア(154) 総合計283人(うち外国人240人)
第4日曜	2016年3月27日			

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数 (人)		合計
中国語	23	子ども 36	ボランティア 42	78
ポルトガル語	23	子ども 31	ボランティア 29	60
スペイン語	23	子ども 56	ボランティア 64	120
インドネシア語	23	子ども 6	ボランティア 19	25
総合計				283

<その他>

実施日	内 容	参加者数 (人)		合計
5月10日	【合同イベント】母の日 メッセージカード作り	子ども 6	ボランティア 5	11
6月14日	【合同イベント】ポルトガルのおまつり(フェスタ・ジュニーナ)	子ども 3	ボランティア 4	7
11月22日	【合同イベント】スペインのゲーム(ピニャータ)と料理(カウサ)作り	子ども 13	ボランティア 8	21
1月24日	【合同イベント】中国の旧正月(水餃子作り)	子ども 3	ボランティア 9	12
2月14日	【合同イベント】中高生向けイベント	子ども 5	ボランティア 5	10
総合計				61

(3)学習支援・サンプレイス

(公益目的事業名) 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業
こどもサポート事業

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。外国にルーツをもつ学生もボランティアとしてかかわっており、そのことで子どもの悩みやニーズへ柔軟な対応を可能とした。今年度は若者支援に通う「多文化ダンス教室」の子どもたちが教室が終わってから来たため、参加人数が昨年度よりも大幅に増加した。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)	
毎週日曜	4月12日~3月27日	13:00~15:00	42	こども (うち外国人)	386(333)
				ボランティア(うち外国人)	273(166)
				合計 (うち外国人)	659(499)

<その他>

実施日	内 容	参加者数(人)	合計
5月17日	サンプル遠足(於:万博公園)	子ども(15)、ボランティア(7)	22
5月17日	サンプルの子どもが作詞作曲した歌の発表会	子ども(4)、ボランティア(11)	15
7月12日	スイカ割り	子ども(14)、ボランティア(14)	28
8月6日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ①	子ども(2)、ボランティア(2)	4
8月7・8日	全国外国人生徒交流会 (於:豊中市立青少年自然の家 わっぱる)	子ども(4)、ボランティア(6)	10
8月9日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ②	子ども(4)、ボランティア(4)	8
8月16日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ③	子ども(9)、ボランティア(9)	18
8月20日	宿題をやっつけよう!夏休みエクステンシブ④	子ども(4)、ボランティア(4)	8
8月23日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ⑤	子ども(11)、ボランティア(4)	15
8月23日	流しそうめん	子ども(15)、ボランティア(7)	22
10月22日	サンプル秋遠足(於:ふれあい緑地)	子ども(28)、ボランティア(7)	35
10月22日	さんあいイベント出店	子ども(2)、ボランティア(2)	4
10月25日	ハロウィン	子ども(6)、ボランティア(6)	12
		総合計	197

◆子ども事業スタッフ・ボランティア研修

実施日	内 容(講 師)	参加者数 (人)
4月26日	第12回ブラジル移民祭2014(主催:NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK)	2
5月31日	ボランティア交流会	10
7月19日	ボランティアミーティング(子どものSNS使用について)	9
7月25日	母語教育支援研修会(主催:公益財団法人 神戸国際交流協会)	1
8月12・13日	若者事業コーディネーター・子ども事業ボランティア合同合宿	19
8月23日	『多文化共生』を考える研修会 2015(主催:公益財団法人 神戸国際交流協会、 神戸定住外国人支援センター)	1
1月30日	第2回識字・日本語学習研究集会(主催:大阪教育大学教職教育研究センター/識 字・日本語学習研究集会実行委員会)	1
2月14日	子ども事業ボランティア研修①「お互いの話を聞きあおう」	8
3月13日	子ども・若者事業合同ボランティア研修②「 講師:金光敏さん(NPO 法人 コリア NGO センター)	16
3月27日	母語スタッフ研修	11
	合計	78

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加 者数
5月15日	豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会	とよなか国際交流センター	1
5月21日	池田市立呉服小学校 国際理学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	1
6月12日	豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会	とよなか国際交流センター	1
7月3日	大阪府教育委員会 学事グループ相談	大阪府教育委員会	1
7月12日	高校進路相談会(主催:しょうない REK)	しょうない REK	1
7月21日	大阪府教育委員会 人権企画課相談	大阪府教育委員会	2
7月24日	とよなか進路フェア実行委員会	豊中市立青年の家 いぶき	1
7月28日	韓国朝鮮の遊びと文化のつどい「ハギハッキョ」	豊中市立南桜塚小学校	2
7月31日	大阪府教育委員会 学事グループ・人権企画課グループ面談	大阪府教育委員会	6
8月6日	過年度生についての情報交換会	大阪国際交流センター	4
8月7日、 8日	全国外国人教育推進協議会 生徒交流会	豊中市立青少年教育センター	10
8月30日	とよなか進路フェア	豊中市立青年の家 いぶき 豊中市立豊島体育館	2
9月8日	川西市とのケース会議	川西市役所	3
9月29日	川西市とのケース会議	川西市役所	2
10月2日	「さんあいイベント」うちあわせ	みとい福祉会	3
10月16日	外国にルーツある生徒のための高校入試説明会	大阪府立東淀川高等学校	1

10月16日	大阪府教育委員会地域教育振興課社会教育グループからの外国人の子ども・若者の実態把握等についての相談	とよなか国際交流センター	2
10月18日	さんあいイベント	ふれあい緑地	5
11月5日	外国にルーツをもつ子どもネットワーク会議	とよなか国際交流センター	2
11月6日	豊中市子ども・若者支援協議会 第1回代表者・実務者合同会議	豊中市立青年の家 いぶき	2
11月6日	シンポジウム「これからの豊中市若者施策に必要な視点」	豊中市立青年の家 いぶき	2
11月26日	セミナー「子どもの貧困～高校中退、低学力、不登校～その実態と支援のあり方」講師:青砥恭さん	蛍池人權まちづくりセンター	1
12月12日	京都女子大学現代社会学講座「ハーフが日本代表じゃだめですか？」	京都女子大学	3
12月15日	第3回子ども施策推進本部連絡会議 相談・支援専門部会実務担当者会議 および ライフセーフティネット総合調整会議・教育と福祉の連携推進部会実務担当者会議		1
2月4日	子ども・若者支援協議会 研修会	豊中市立青年の家 いぶき	1
2月12日	子ども・若者支援協議会 研修会	くらしかん	1
2月16日	第5回子ども施策推進本部連絡会議 相談・支援専門部会実務担当者会議 および ライフセーフティネット総合調整会議・教育と福祉の連携推進部会実務担当者会議	すこやかプラザ	1
3月3日	池田市立呉服小学校 国際理解学習全校集会・母国語教室修了式	池田市立呉服小学校	1

子ども相談 合計 119 件

内容	件数
学習支援	7
母語・母文化学習	0
日本語支援	8
進学／進路	27
就労	3
金銭問題	0
学校でのトラブル	1
家庭内のトラブル	47
保健	19
その他	7
合計	119

Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

1. 小学校外国語体験活動事業(豊中市教育委員会受託事業)

豊中市が総合計画で推進している「共に生き共に学ぶ開かれた社会を築く」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働実施している「豊中市小学校英語(外国語)体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した(2006年度より)。地域に暮らす外国人(ボランティア)が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

◆事業内容

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として外国語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ① 教職員や子どもに地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ② その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③ 学校に在籍する外国にルーツを持つ・外国籍の子どもたちの自尊感情がはぐくまれ、マイノリティの子どものエンパワーメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワーメントにもつながる取り組みをした。

◆実施体制

＜ボランティア:英語22人(11か国)、その他の言語34人(14か国・地域)、コーディネーター7人＞
英語体験活動のボランティアは、英語を第1、第2言語または生活・学習言語としてきた者が中心であった。また英語以外の外国語体験活動ボランティアは、自国のことばと共に、日本語または英語の能力を有する者であった。ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度はさまざまであった。

◆実施実績

ボランティア数	55人
ボランティア活動総時間数	1,250時間
体験子ども数	のべ約37,500人
英語ボランティア国籍数	11か国 21人
内訳	フィリピン、タイ、フランス、インド、スリランカ、インドネシア、マレーシア、モロッコ、モンゴル、ルーマニア、韓国
外国語ボランティア国籍数	14か国・地域 34人
内訳	韓国、中国、フランス、タイ、ブラジル、ロシア、ペルー、モンゴル、エジプト、ドイツ、スリランカ、フィリピン、モロッコ、マレーシア

2. 国際教育推進事業

◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3カ年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。

2015年度は2月19日に国際教育研修会として、この数年の国際教育フォーラムで助言者として、豊中の国際教育のすすめ方に深く関わってこられた堀田博史先生(園田学園女子大学教授)を講師に招き、「ESDの考え方と学習活動の関連性」と題した講演とワークショップを行い、今日のグローバル社会が求められている「生きる力」の育成に向け、ESDの考え方と毎日の学習活動の関連性を学び、日常の授業づくりに役立てるためのワークショップを行った。

その他、第九中学校のサンマティオの姉妹校との交流の様子「BREL週間までの道のり」が報告されたり、上野小学校の取組「うへのワールドミュージアム」の広報案内がされたり、とよなか国際交流協会との共催事業「多文化フェスティバル」の企画や事業の報告がなされたりして、地域の学校や国際交流協会との協力関係を前進させることができた。

《豊中市国際教育推進協議会の開催について》

・協議会の開催 3回

第1回 5月26日 取り組みの方向性 年度計画、実務機関の設置について

第2回 12月14日 実務担当者会進捗状況 第九中学校・ぼれるミドルスクールの交流について
国際教育研修会、国推協共催事業について

第3回 3月25日 年度総括と次年度に向けて、各実務担当者会・国際教育研修についての報告等

・実務担当者会(ESD実践ガイド) 1回

第1回 11月5日 実務担当者会の目的・各校園の取組内容・今年度計画等について

・実務担当者会(日本語指導) 2回

第1回 12月4日 ・児童生徒の日本語に課題があると気づくためのチェックリストについて①
・特別の教育課程とDLAについて

第2回 2月3日 ・児童生徒の日本語に課題があると気づくためのチェックリストについて②

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

＜豊能ブロック協議会構成団体＞ 計22団体

大阪府教育委員会	豊能地区在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
箕面市教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
能勢町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能町教育委員会	豊能町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
池田市進路保障協議会	(公財)とよなか国際交流協会
豊中市進路保障協議会	(公財)箕面市国際交流協会
箕面市進路保障協議会	大阪府在日外国人教育研究協議会
豊能郡進路保障協議会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会

豊能ブロック「多言語による進路ガイダンス」	
実施日時	2015年10月31日(土) 13:00～16:00 ※13:00～14:00 進路説明会 ※14:00～14:20 先輩体験談 ※14:30～16:00 個人相談会
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	91人
	内訳 生徒 14人／保護者 14人／通訳者 12人(9か国) 先輩 2人 / 関係者 49人

3. 多文化子どもエンパワメント事業

(1)とよなか子ども日本語教室

2010年度に始まったとよなか子ども日本語教室から日本語指導者グループ「とよなか JSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなか JSL・行政の三者協働事業「とよなかこども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業(「こどもにほんごプロジェクト」)」が3ヶ年計画として始まった。2015年度は、3ヶ年計画を一年延長し、指導案づくりや情報共有・協働の体制づくりをさらに進めた。協会は活動の周知や参加希望者の取次ぎ、学校や市教委等との連携・調整役として事業運営に参画した。

◆「こどもにほんごプロジェクト」企画会議

協働三者と関係機関で構成される企画会議に参加、事業の進捗やあり方についての情報共有・意見交換を行った。

実施日	第一回企画会議 : 2015年5月28日(木) 13:00～14:00
	第二回企画会議 : 2015年10月15日(木) 13:00～14:00
	第三回企画会議 : 2016年3月3日(木) 13:00～14:00
場 所	豊中市役所
企画会議委員	とよなか JSL、豊中市人権政策課、教育委員会事務局人権教育課、教育委員会事務局学校教育課、(公財)とよなか国際交流協会、コミュニティ政策課(オブザーバー)

◆とよなかこども日本語教室の運営

豊中市内の日本語指導が必要な児童生徒を対象に日本語学習のための教室を週 3 回催し、適宜学校とも連絡を取り合った。ボランティアは教室の前後に随時ミーティングを開き、指導内容の確認や振り返り、子どもの情報交換などを行った。子どもの日本語指導者養成講座を修了したボランティアの継続的なかわりのなかで指導力が向上し、さまざまな子どもの日本語力に応じたカリキュラムが作成されると同時に、子ども同士の相互学習にもつながった。

また、昨年に引き続き協働団体間の「情報交換会」を月 1 回程度開催し、日本語指導を必要とする子どものスムーズな受け入れや教室での情報共有に努めた。

また、日本語学習相談は 26 件と昨年度をやや下回る件数となった。これは、(1)「子ども日本語教室」の認知が学校現場や保護者側に進み、開催時間や申し込み方法などの概要についての問い合わせが減少したこと、(2)教室に通う子どもの保護者、学校との連携がスムーズにいったため、通級者への相談対応の必要が少なかったためと思われる。

実施日	毎週月曜 15:00～16:30、16:30～18:00
	毎週木曜 15:00～16:30、16:30～18:00
	毎週土曜 14:30～16:00/ 16:00～17:30
場 所	とよなか国際交流センター
期 間	2015 年 4 月 6 日～2016 年 3 月 19 日
回 数	128 回
参加者数	子ども のべ 1,558 人、 ボランティア のべ 1,179 人
	計 2,737 人
日本語学習相談	26 件

◆日本語指導者スキルアップ講座

こどもにほんごプロジェクト(とよなか JSL、豊中市教育委員会、(公財)とよなか国際交流協会)と、関西地区日本語指導者研究会の共催で、「とよなかこども日本語教室」に関わるボランティアのスキルアップを目的とした講座を開催した。

実施日	2015 年 7 月 25 日(土) 11:00～16:30
場 所	とよなか国際交流センター
内 容	1)「とよなかこども日本語教室」ボランティアによる指導案の提案および資料提示による討議 2) 専門家からの指導助言 大菅佐妃子さん(豊中市教育委員会指導主事) 田中薫さん(とよなか JSL 共同代表)
参加者数	36 人 (内訳: 一般参加 22 人、講座関係者 14 人)

◆「こどもにほんご教室」事業報告会・学校等交流会の開催

4年間の協働事業のまとめの報告会、ならびに外国にルーツをもつ子どもに携わる学校関係者との意見交流会を開催した。内容は二部構成で、第一部では協働事業の変遷や「こどもにほんご教室」の現状について全体で共有したのち、第二部で学校交流会、授業内容の解説を行った。学校交流会では、学校関係者にとほんご教室ボランティアが中心となり、学校現場や日本語教室での様子を共有し、今後の日本語指導に向けての対応などを相談・確認した。授業内容の解説では、指導の様子を見たことがない人にも分かりやすいよう、ビデオや実際の教材を参照しながら発表をおこなった。

実施日	2016年2月18日(木) 15:00~16:15
場 所	とよなか国際交流センター
内 容	◆第一部「事業報告会 Part1」 ・事業実施経過の説明 ・日本語指導による児童生徒の様子の変化など (指導案の紹介/日本語教室の状況について) ◆第二部 ①学校交流会: 学校の先生方との意見交流 ②事業報告会 Part2: ビデオ・資料を使った授業解説
参加者数	30人 (内訳: 学校関係者13人、人権教育課3人、コミュニティ政策課1人、とよなか国際交流協会3人、とよなかJSL10人)

◆ボランティア募集

今年度は、チラシでのボランティアの募集を行い、新たに2人のボランティアが参加した。昨年度「こどもの日本語指導者養成講座」で実施していた内容を個別対応に切り替え、ボランティアの養成を行った。

(2)多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、豊中市国際教育推進協議会との共催で多文化フェスティバル(帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂につどい、つながり、交流を深める機会)を例年開催している。10回目を迎えた2015年度は、新たにゼロからの企画となった。午前中は国際教室、帰国教室、韓国朝鮮の遊びと文化のつどい、学習支援「サンプレイス」、多文化ダンス教室「わたパチ」など市内各地で活動している子どもたちによる文化発表を行った。午後は、大学生や大学院生、桜塚高校の生徒がボランティアスタッフとして入り、「大きな絵巻物を作ろう」というワークショップを行った。今回初めて地域の高校、桜塚高校とつながり、企画・運営に関わってくれた。

実施日	内 容	
実行委員会	4月23日、6月25日、9月11日、10月16日、11月5日、11月19日、12月10日(計7回)	
メンバー	人権教育課、学校教育課、豊中市外教、とよなか国流	
ワーキンググループ会議	10月22日、10月31日	
内 容	ワークショップの進め方など	
参加者数	計10人 (10/22 5人、10/30 10人)	
	子ども会議	
	実施日	11月8日、15日、22日
	内 容	11月8日: アイスブレイク、コンセプトの説明 11月15日: 絵のアイデアを出し合う 11月22日: 試しに絵を描いてみる
	参加者数	①11月8日:13人 ②11月15日:17人 ③11月22日:11人
多文化フェスティバル	11月28日(土) 10時~16時	
場 所	すてっぷホール	
(参加人数)	多文化フェスティバル(110人、うち外国人50人)	

◆南北コリアと日本のともだち展

2001年北朝鮮で起きた飢餓問題を受けて、「21世紀を平和の世紀としたい」という願いのもとに、日本と朝鮮・韓国・在日コリアンの子どもたちの出会いと交流の場として「ともだち展」が東京で始められた。2011年、大阪で実行委員会形式でこの「ともだち展」を大阪国際交流センターならびにとよなか国際交流センターで開催し、今年度は5回目の大阪展であった。今回の絵画展は「わたしのおきにいり」がテーマであった。

今年度も昨年度に引き続き、協会から韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい実行委員会に呼びかけ、朝鮮半島にルーツを持つ子どもたちに絵画の作成をしてもらった。また、協会事業(子ども母語、サンプルイス)に参加する子どもたちにも声掛けをし、作成してもらった絵画を多文化な子どもたちの絵として、とよなか展に展示し、他の会場で展示される予定である。とよなか展は豊中市の人権月間に合わせて11月20日～12月4日にかけて開催し、のべ3,265人(うち外国人1,450人)の来場があった。

実行委員会	6月17日、7月29日、8月31日、10月23日、12月14日、3月11日(計6回)		
メンバー	(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク関西事務局、大阪市小学校教育研究会国際理解教育部会、大阪ユネスコ連絡協議会(大阪ユネスコ協会、エリーニ・ユネスコ協会、箕面ユネスコ協会)、(公財)関西韓国YMCA、国際教育フォーラム、(特活)コリアNGOセンター、(公財)大阪YWCA、在日韓国基督教教会館(KCC)、在日コリアン青年連合(KEY)(公財)とよなか国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会		
大阪展	11月13日～11月15日	展示枚数	238点
場 所	大阪国際交流センター	参加者数	206人
豊中展	11月20日～12月4日	展示枚数	52点
場 所	とよなか国際交流センター	参加者数	3,265人(うち外国人1,450人)
子どもワークショップ	①11月14日 ②11月28日		
場 所	①大阪国際交流センター ②とよなか国際交流センター		
内 容	①「東アジアのみんなに挨拶を送ろう！」等身大の自画像を作る。 ②「大きな絵巻物を作ろう！」		
参加者数	① 23人 ②70人		
トークイベント	11月15日		
場 所	大阪国際交流センター		
テーマ(講師)	①10代しゃべり場！！②ともだち展が「いま」果たす役割③20代しゃべり場！！		
参加者数	①13人 ②3人 ③2人		

(3)若者支援(文化庁受託事業【平成27年度『生活者としての外国人』のための日本語教育事業】「外国にルーツをもつ若者の生活力・表現力アップ日本語事業」委託期間:2015年4月13日～2016年3月20日、※その他の期間は、自主財源で実施)

外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。3年間の節目の年となる今年度は、これまでの取組の成果をふまえて定例活動である3つの取組(計6つの活動)を充実させるとともに、行政や地域市民との協働をいっそう深めた。

◆事業運営委員会

実施日	2015年6月9日、11月27日、2016年3月18日(計3回)
メンバー	豊中市 教育委員会 人権教育室 課長 豊中市 教育委員会 帰国・渡日児童生徒相談室 担当者 豊中市 市民協働部 暮らし支援課 若者担当主幹 豊中市 市民協働部 暮らし支援課 課長 豊中市 人権文化部 人権政策室 同和・国際担当主幹 大阪大学 未来共生戦略機構 特任准教授 大阪大学 未来共生戦略機構 特任助教 地域人権学習会「ぼちぼち」元主催者・社会福祉士 公益財団法人とよなか国際交流協会 事務局長、事業担当者

◆ I. ユース☆かたらい日本語講座

①若者のたまりば

高校生年齢以上の若者が、日常生活や日本語学習における疑問や不安を解消し、安心・安全で心許せる場づくりをおこなった。同じ背景をもつ仲間や先輩、ボランティアらと出会い、料理をつくりながら交流をすすめた。地域のイベントや集まりにも参加し、地域市民との関わりをもちながら、活動の幅をひろげた。今年度は、多方面で活動する人々を講師に招き、お話しを聴いて考える「寺子屋@たまりば」を開催し、知識や出会いの可能性を広げた。

実施日/期間	2015年4月2日(木)～2016年3月31日(木) 毎週木曜日 18時～20時30分(4月は18時～20時)
対象	外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	53回
内容(一例)	流しそうめん(8月20日):夏の風物詩「流しそうめん」を体験しながら、各国の文化や麺料理について話し合う。/クリスマス会(12月24日):クリスマスにちなんで、催事料理をつくって食べながら、各国・地域の伝統行事について語り合った。/来年度に向けて(3月10日):自分にとっての「若者のたまりば」について短い文章で表現したものを発表しあった。
参加者数	若者 のべ 539人 (うち外国人 341人)
	講師 のべ 102人(うち外国人 102人)

《勉強会「寺子屋@たまりば」》

実施日	タイトル・内容	講師(所属)
・11月26日	「奨学金問題について」 奨学金問題をめぐる課題と対策について	K.Mさん(関西学生アルバイトユニオン)
12月10日	「お互いを大切にする関係ってどんなだろう ～デートDVを参考に」 デートDV例に交際の在り方を考える	M.Cさん(大阪大学大学院)
1月21日	「ムスリムをしよう①」 ハラール料理づくり&試食	J.Sさん(大阪大学大学院)
2月25日	「ムスリムをしよう②」 ムスリムの講師の方からお話を聴く	J.Sさん(大阪大学大学院)
3月17日	「10年のふりかえり」 協会ボランティアの活動の歴史を聴く	N.Yさん(公益財団法人とよなか国際交流協会)

《課外活動実績》

実施日	タイトル	会場
5月30日(土)	遠足にいこう	「ザ・ファーム ユニバーサル」(茨木市)
8月1日(土) ・2日(日)	豊中まつり2015 市民ふれあい広場での 「たまりバル」出店	豊島公園(豊中市曾根南町)
10月31日 (土)	ハロウィンパーティ	市内広場

②おしごとカフェ

外国にルーツをもつ若者が、多様な人々や考え方に会い、将来の生き方について考える「カフェ」として、毎回テーマを設定し、講座を開催した。安心・安全な雰囲気づくり、同じ外国にルーツをもつ仲間(ピア)との出会う場所としての、場づくりを行った。また、気持ちの表現や働くことに関する日本語表現の習得を目指した。

実施日/期間	5月23日、6月27日、7月25日、8月22日、9月26日、10月24日、 11月21日(課外活動)、12月26日、2016年1月23日、2月27日 毎月第3土曜日 14時～16時
対象	外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター/あさひビール工場(大阪府吹田市)
回数	10回
内容(一例)	はたらくことをイメージしよう(働いていて楽しかったことや困ったことなどを聴きあう)・労働ぶち講座(労働法を簡単な日本語で学ぶ)(6月27日)/工場見学(参加者で計画を立て、ビール工場へ見学を実現した。)(9月26日・10月24日・11月21日)
参加者数	若者 のべ 83人 (うち外国人 56人)
	講師 のべ 10人 (うち外国人 1人)

◆ユース☆ひょうげん日本語

①ダンス de ひょうげん講座

若者の自己表現をテーマに、多感な時期であり社会に出て行く過程にある若者が、興味関心にあった日本語を学びながら、地域社会とつながるきっかけをつくることを目的とした。具体的には、「多文化ダンス教室『わたパチ』」および『若者クラス』を通じて、ダンスを通じた表現活動・仲間づくりの活動、日本語でのコミュニケーション・自己表現の習得、地域とのつながりづくりなどをおこなった。

① 多文化ダンス教室「わたパチ」	
実施日／期間	2015年4月2日～2016年3月31日 木曜日 18:00～20:00／日曜日 10:00～12:00
対 象	外国にルーツをもつ若者
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	89回
参加者数	若者 のべ 1010人 (うち外国人 715人) 講師及びボランティア のべ 166人(うち外国人 152人)

② 「若者クラス」	
実施日／期間	2015年4月5日～2016年3月31日 日曜日 13:00～15:00
対 象	外国にルーツをもつ若者
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	40回
参加者数	若者 のべ 173人 (うち外国人 152人) 講師及びボランティア のべ 85人(うち外国人 58人)

【発表実績】

実施日	内容	会場
5月10日(日)	『わたパチ』プチ発表会	とよなか国際交流センター
6月20日(土)	「サンパティオの日」 ゲスト出演	サンパティオホール(豊中市庄内西町)
8月2日(日)	豊中まつり 2015 市民ふれあい広場ステージ発表	豊島公園(豊中市曾根西町)
9月6日(日)	とよなか国際交流フェスタ ステージ発表	とよなか国際交流センター
10月4日(日)	とよなかダンスフェスタ ゲスト出演	ローズ文化ホール(豊中市野田町)
12月24日(木)	「若者のたまりば」クリスマス会にて プチ発表	とよなか国際交流センター
2016年3月17日 (木)	ルワンダの子どもたちとのダンス交流・発表会	とよなか国際交流センター

②ラジオ de ひょうげん講座 ～インターネットラジオ番組『とよなかエアライン』～

ラジオという「声のメディア」について制作の基礎や番組構成を知り、オリジナル番組を計画することで、メディアを通じた表現の手法を学んだ。また、仲間と共に番組制作、発信など一連のプロセスを経ることで自信をもって自分の意見や想いを日本語で表現することが出来た。

実施日	2015年4月3日～2016年3月21日(計22回)
場 所	とよなか国際交流センター／豊島公園(豊中市曾根南町)／ピアサロン(豊中市中桜塚)
内容一例 (実施日)	インタビューをしてみよう(6月7日):講師のインタビューをもとに、自分なりのインタビュー項目を検討した。ゲストを迎えて、番組の録音を行った。/ インタビューをしてみよう《屋外編》(8月2日):豊中まつり出店者、参加者にやさしい日本語でインタビューを実施した。/ 自分のラジオ番組をつくらう(1月9日):韓国ルーツの若者の話を聴きながら、自分の番組にゲストに来てもらったら、どのような番組構成、ゲスト紹介、インタビューをするかシミュレーションをおこなった。
参加者数	若者 のべ 130人 (うち外国人 114人) 講師 のべ 22人 (うち外国人 22人)

③映像 de ひょうげん講座 ～楽しい『てーげー大学』～

外国にルーツをもつ若者を中心とした若者やメディア研究者を講師に迎え、自分自身のライフヒストリーや自らのかかえる想い・夢、興味のあることなどについて話を聴き、他者の語りに耳を傾けると共に、語りの趣旨やその奥にある想いをひきだすための質問・意見交流をおこなった。ビデオ映像や写真、雑誌やCD・レコードなどのメディアを講座のテーマにあった形で使用し、多様な表現の在り方を検討した。

実施日	2015年5月24日、6月14日、7月12日、9月27日、11月8日、12月20日、2016年1月31日、3月20日（計8回）
場 所	とよなか国際交流センター
内容一例 (実施日)	「マウンティング」から社会を考える(6月14日):若者の間で行われているコミュニケーションの特徴を映像などで確認しながら実践を行い、感想を語り合う。/ アナログ情緒概論(11月8日):準備された多様なレコードのなかから好きなものを選び、その歌詞の単語の意味や解釈の仕方について互いに意見を交わしながら日本語の理解を深めた。
参加者数	若者 のべ 119人 (うち外国人 68人) 講師およびボランティア のべ 15人 (うち外国人 12人)

◆ユース☆つながる日本語

①つながる日本語サポート

定時制高校に通う学生を対象に、学校・地域機関と連携を深めながら日本語支援を行った。来年度の事業展開に向け、試験的な取り組みとして実施した。

実施日	2016年1月9日、1月30日、3月5日、3月12日、3月19日（計5回）
場 所	とよなか国際交流センター
内容一例 (実施日)	ニュースを読もう(3月5日):ニュースの音読、わからない単語・文法のチェック、気になるニュースについて日本語で作文を書く/小説を読もう(3月19日):タイの高校生が読む小説を題材に、日本語で感想を作文し、発表する。
参加者数	若者 のべ 5人 (うち外国人 5人) 講師 のべ 5人 (うち外国人 5人)

②つながるフェスタ「庶民派室内フェス SHO-MING-HA!!!」

文化庁委託事業の3年間のまとめとして、地域市民や大学、市民団体などつながりながら参加型成果発表会を実施した。企画段階から当日の運営まで、外国にルーツをもつ若者が中心となって取り組み、地域への参画のきっかけとした。

実施日	3月6日(日) 13時～20時
場 所	ピアサロン(豊中市中桜塚)
内容一例	「生活者としての外国人のための日本語講座」のこれまでとこれから: フェスタ参加者を対象に、本事業で実施してきた取組の成果と課題を発表するとともに、よりよい事業運営についての意見交流を行った。/ 声で伝えるメディアワークショップ: 取組で実施したラジオ講座のノウハウをいかし、フェスタに参加した人に伝わるような、アナウンス用語を使って、実際に館内放送をおこなった。
参加者数	若者 のべ 180人 (うち外国人 139人)

◆その他 活動報告など

実施日	内容	会場
10月3日	日本語教育大会(近畿大会) 若者支援事業の発表 (発表者: 若者事業コーディネーター6人)	エルおおさか
2016年1月30日	第2回識字・日本語学習研究集会 C分科会 若者支援事業の発表 (発表者: 若者事業コーディネーター2人)	大阪教育大学 天王寺キャンパス

(4)多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト（てーげー部）(2014 年度公益財団法人庭野平和財団助成事業)

外国人の定住化や国際結婚、日本国籍取得などの増加により、日本生まれ・日本育ち、ダブルの子ども、日本国籍の子ども、また母国と日本を往来する子どもなどが増えており、生育環境、家族形態、国籍や名前など、多種多様な「外国につながる子ども・若者」が存在している。しかし、「外国につながる子ども・若者」は、国籍・民族・ことば・文化等がひとつに固定されず、特定の活動や枠組みに当てはまらないがゆえに、不安定なまま潜在化する傾向にある。このような外国につながる子ども・若者たちが映像作品の制作を通して、多様な文化の織りなす自分自身を積極的にとらえ、さまざまな形で発信方法を身につけ、これまでの特定の「枠組み」をいったん捨て、「日常」からスタートしようと表現活動に取り組み、出会いの場を創造することを目的として実施した。

「ハーフ」「ダブル」「混血児」「外国人」等についてのイメージや価値観をメディアから一方的に「与えられる」のではなく、自らが表現し発信者となるための方法や力を獲得し、マジョリティ社会へ価値観の問い直しを発信することも目指した。2015 年度は、2012 年度制作の映像作品『ナニジン？—トモダチ作戦—』(10 分)の上映会や講演会の実績を活かしながら、沖縄にて行った撮影をもとに作成した第二弾作品『ぼくと沖縄と みんな—Dear My Past, Dear My Future』の制作に取り組み、上映会を行った。

◆映像作品名:『ナニジン？—トモダチ作戦—』(放映時間 10 分、2012 年)

内容:「ダブル、ハイブリッド、クォーター、混血児? 同じ悩みを語れる人がみつからない、居場所がみつからない そんなあなたを待っています。この映像は、出発点です。一緒にこの続きをつくりませんか?」

◆映像作品名:『ぼくと沖縄と みんな —Dear My Past, Dear My Future』(放映時間 25 分、2016 年)

内容:2013 年 2 月、「混血児」であるトーマスは、パートナーと息子、てーげー部のメンバーとともに沖縄を訪れた。「夢と青春と挫折の場所、いろんな思い出がつまったこの場所で大切なみんなに知ってもらいたい 僕の弱い部分を…」トーマスはそう思っていた。ルーツを求め、沖縄の大学へ進学したトーマスが当時沖縄で感じた事とは…。社会人になった今、トーマスの中での沖縄はどう変わったのか。そのトーマスに連れ回されるみんなは、それぞれに何を感じたのか…。過去から現在、そして未来へ。ときは進む。

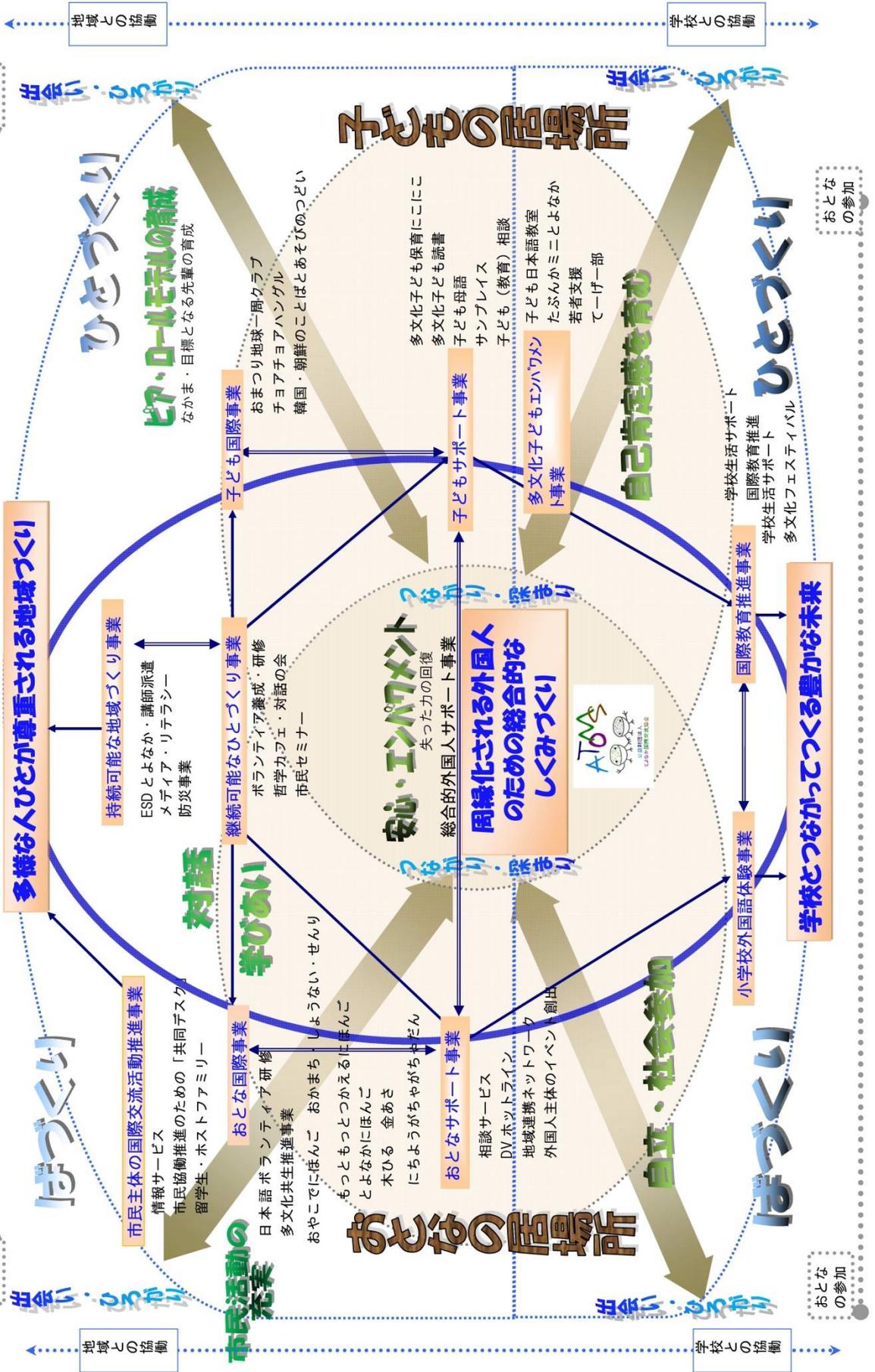
会議・編集作業 (参加者数)	4 月 19 日、5 月 24 日、6 月 14 日、6 月 28 日、7 月 12 日、7 月 19 日、8 月 30 日、9 月 27 日、10 月 4 日、11 月 8 日、11 月 22 日、12 月 20 日、2016 年 1 月 19 日、1 月 23 日、1 月 30 日、2 月 7 日、2 月 21 日、2 月 28 日、3 月 3 日、3 月 20 日 (計 20 回)
活動参加者数	参加者のべ 87 人 (うち外国人 52 人)
上映・対外関係等 (場所)	①子ども事業ボランティア・若者事業コーディネーター合同合宿 上映会(ウエント淡路東海岸, 兵庫県) (8 月 12 日・13 日) ②『国際交流フェスタ』上映会 (とよなか国際交流センター) (9 月 6 日) ③『第 8 回市民セミナー』講演&上映 (とよなか国際交流センター) (1 月 23 日) 『庶民派室内フェス SHO-MING-HA!!!』てーげー部メンバーによる映像ワークショップなどの実施 (ピアサロン, 豊中市中桜塚) (3 月 6 日)

2015年度

公益財団法人とよなか国際交流協会事業体系

公益目的事業：地域の市民の主体的な参加による、
人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業

○ は協会の重要課題である
総合的外国人支援事業の
範囲をします。



IV. 施設管理受託事業

◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流・男女共同参画目的利用の市民や一般利用者に対して、公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数(前年度比)	62,914人(860人増)
全利用者のうち外国人の利用者数(前年度比)	26,330人(2,268人増)
年間貸室件数	5,713件(55件減)
国際交流目的での貸室件数	4,734件(82.9%)

◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務(豊中市からの受託)の施設貸出業務について

① 2015年度(2015年4月～2016年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	25	428	4,138	1,785
5月	27	482	4,783	1,983
6月	26	475	4,731	1,959
7月	26	506	5,100	1,970
8月	27	487	4,302	1,640
9月	25	510	8,590	3,827
10月	27	503	5,962	2,510
11月	26	495	5,264	2,170
12月	24	409	5,950	2,510
1月	24	460	4,637	1,995
2月	25	502	4,852	1,951
3月	26	456	4,605	2,030
合計	308	5,713	62,914	26,330

② 2015年度(2015年4月～2016年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率 (単位 上段:件、下段:%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		会議室1	件数	43	42	48	48	40	47	47	51	37	41	46
	使用率	57.3%	51.9%	61.5%	61.5%	49.4%	62.7%	58.0%	65.4%	51.4%	56.9%	61.3%	55.1%	57.7%
会議室2A	件数	33	42	39	39	58	47	42	42	34	32	41	47	496
	使用率	44.0%	51.9%	50.0%	50.0%	71.6%	62.7%	51.9%	53.8%	47.2%	44.4%	54.7%	60.3%	53.7%
会議室2B	件数	35	40	44	43	58	48	47	44	36	29	39	34	497
	使用率	46.7%	49.4%	56.4%	55.1%	71.6%	64.0%	58.0%	56.4%	50.0%	40.3%	52.0%	43.6%	53.8%
会議室2C	件数	38	43	41	47	52	49	45	45	34	36	46	45	521
	使用率	50.7%	53.1%	52.6%	60.3%	64.2%	65.3%	55.6%	57.7%	47.2%	50.0%	61.3%	57.7%	56.4%
会議室3	件数	31	33	39	35	32	46	45	42	37	40	40	33	453
	使用率	41.3%	40.7%	50.0%	44.9%	39.5%	61.3%	55.6%	53.8%	51.4%	55.6%	53.3%	42.3%	49.0%
会議室4	件数	55	58	57	55	59	55	59	57	46	47	57	46	651
	使用率	73.3%	71.6%	73.1%	70.5%	72.8%	73.3%	72.8%	73.1%	63.9%	65.3%	76.0%	59.0%	70.5%
会議室5	件数	50	50	51	52	47	50	52	50	47	54	60	53	616
	使用率	66.7%	61.7%	65.4%	66.7%	58.0%	66.7%	64.2%	64.1%	65.3%	75.0%	80.0%	67.9%	66.7%
料理室	件数	33	32	30	45	44	34	36	36	35	34	30	40	429
	使用率	44.0%	39.5%	38.5%	57.7%	54.3%	45.3%	44.4%	46.2%	48.6%	47.2%	40.0%	51.3%	46.4%
音康ルーム	件数	43	51	42	47	36	44	48	48	42	49	51	49	550
	使用率	57.3%	63.0%	53.8%	60.3%	44.4%	58.7%	59.3%	61.5%	58.3%	68.1%	68.0%	62.8%	59.5%
和室	件数	16	16	20	20	11	21	22	18	17	21	23	19	224
	使用率	21.3%	19.8%	25.6%	25.6%	13.6%	28.0%	27.2%	23.1%	23.6%	29.2%	30.7%	24.4%	24.2%
ブレイルーム1	件数	14	23	20	28	16	26	23	24	19	26	21	25	265
	使用率	18.7%	28.4%	25.6%	35.9%	19.8%	34.7%	28.4%	30.8%	15.0%	36.1%	28.0%	32.1%	28.7%
ブレイルーム2A	件数	21	28	24	26	19	23	21	20	15	27	25	14	263
	使用率	28.0%	34.6%	30.8%	33.3%	23.5%	30.7%	25.9%	25.6%	20.8%	37.5%	33.3%	17.9%	28.5%
ブレイルーム2B	件数	16	24	20	21	15	20	16	18	10	24	23	8	215
	使用率	21.3%	29.6%	25.6%	26.9%	18.5%	26.7%	19.8%	23.1%	13.9%	33.3%	30.7%	10.3%	23.3%
総件数		428	482	475	506	487	510	503	495	409	460	502	456	5713
開館日数		25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	25	26	308
使用率		43.9%	45.8%	46.8%	49.9%	46.2%	52.3%	47.8%	48.8%	43.7%	49.1%	51.5%	45.0%	47.6%

③ 2015年度(2015年4月～2016年3月) **国際交流目的** 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率

(単位 上段:件、下段:%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	42	42	48	44	40	47	44	50	36	39	44	40	516
	使用率	56.0%	51.9%	61.5%	56.4%	49.4%	62.7%	54.3%	64.1%	50.0%	54.2%	58.7%	51.3%	49.3%
会議室2A	件数	33	42	36	35	54	47	37	39	32	32	39	42	468
	使用率	44.0%	51.9%	46.2%	44.9%	66.7%	62.7%	45.7%	50.0%	44.4%	44.4%	52.0%	53.8%	57.3%
会議室2B	件数	33	39	38	40	53	48	41	39	35	27	33	32	458
	使用率	44.0%	48.1%	48.7%	51.3%	65.4%	64.0%	50.6%	50.0%	48.6%	37.5%	44.0%	41.0%	59.1%
会議室2C	件数	35	42	38	42	52	48	42	42	32	34	39	42	488
	使用率	46.7%	51.9%	48.7%	53.8%	64.2%	64.0%	51.9%	53.8%	44.4%	47.2%	52.0%	53.8%	61.6%
会議室3	件数	26	31	36	32	29	39	38	39	30	38	37	32	407
	使用率	34.7%	38.3%	46.2%	41.0%	35.8%	52.0%	46.9%	50.0%	41.7%	52.8%	49.3%	41.0%	41.8%
会議室4	件数	55	58	57	54	59	54	59	57	46	47	57	46	649
	使用率	73.3%	71.6%	73.1%	69.2%	72.8%	72.0%	72.8%	73.1%	63.9%	65.3%	76.0%	59.0%	66.3%
会議室5	件数	48	49	51	50	44	46	47	47	45	54	59	52	592
	使用率	64.0%	60.5%	65.4%	64.1%	54.3%	61.3%	58.0%	60.3%	62.5%	75.0%	78.7%	66.7%	62.0%
会議室総件数		272	303	304	297	331	329	308	313	256	271	308	286	3578
開館日数		25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	25	26	308
会議室使用率		51.8%	53.4%	55.7%	54.4%	58.4%	62.7%	54.3%	57.3%	50.8%	53.8%	58.7%	52.4%	56.8%

④ 使用料の収入の状況:

とよなか国際交流センター使用料(平成27年(2015年)4月～平成28年(2016年)3月納付分)

計 1,775,240円

2015年度(2015年4月～2016年3月)安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーテーションの開閉事故	③電球取り替え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・状況・内容等
4月	無し	無し	無し	無し	
5月	無し	無し	無し	無し	
6月	無し	無し	無し	無し	
7月	無し	無し	無し	無し	
8月	無し	無し	無し	無し	
9月	無し	無し	無し	無し	
10月	無し	無し	無し	無し	
11月	無し	無し	無し	無し	
12月	無し	無し	無し	無し	
1月	無し	無し	無し	無し	
2月	無し	無し	無し	無し	
3月	無し	無し	無し	無し	

V. その他

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」の開催および登録グループの成果発表の場づくり ほか

今年度、センター登録グループや事業ボランティアから構成される実行委員会の主催として、「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。センターで活動する登録グループに成果発表の機会ともした。

実施日時	9月5日(土)、6日(日)10:00~16:00	場 所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ	3,100人
内 容	<とよなか国際交流フェスタ> ・とよなか国際交流センターで活動する登録グループによる活動発表会 ・市民グループによるバザー・出店、エスニック料理 ・福祉のお店コーナー				

◆視察受け入れ等

	日時	受け入れ	人数 (うち外国人)
1	4月24日	大阪大学未来共生機構第五部門	2(0)
2	6月30日	山形県東根市役所	4(0)
3	7月17日	埼玉県国際交流協会	9(2)
4	7月16、23、30日	大阪大学学生	10(0)
5	8月4日	大阪府立千里高等学校	35(1)
6	8月24日	池田市立呉服小学校 職員研修	22(1)
7	9月10日	豊中市職員2年目研修	6(0)
8	10月22日	大阪女学院大学	19(4)
9	10月26日	JICA 研修	20(17)
10	11月6日	大阪大学大学院人間科学部グローバル人間学科目	30(0)
11	11月20日	豊中市立克明小学校 小学4年生	9(1)
12	12月7日	大阪府私立学校人権教育研究会	15(0)
13	12月22日	大阪府人権協会	3(0)
14	2月16日	名古屋学院大学	4(2)
計			188(28)

◆「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験 豊中市立中学校生徒の受け入れ 10月27日、29日
1校、2人を受け入れ(第十一中学校より)

◆事業評価会

市民参加型の事業評価会を3月5日に例年通り開催し、今年度の成果や課題について発表した(参加者72人、うち外国人19人)。

◆みんなでデザインする「協会(組織)・活動(人びと)・センター(公共空間)」の5年 (通称“デザイン5”)

指定管理を受けた5年間、協会に関わる人々が知恵を出し合い、活動や協会をいっそう活性化させるための取り組み。2015年度は最終年度で、引き続き①協会事業を広く知ってもらうための「広報」、②活動の垣根を越えた対話の場づくり「さんかふえ」、③外国人が主体となつてつくる公共空間づくり「C.C.カフェ」に④東日本大震災について考えつづける機会の提供「東北復興支援」を実施。1年間の取り組みをまとめ、3月5日の事業評価会で協会関係者に配布し、報告した。

① 広 報

協会の活動や協会の存在を広く社会に発信するため、ネット広報の強化に取り組み、ソーシャルネットワーキングサービスでの情報発信(Facebook)をほぼ毎日実施した。若者支援事業と連携してインターネットラジオへの情報発信を試みたり、ネット以外のメディアへの情報発信・情報提供にも取り組んだ。

重点的な取り組み	内 容
センターウェブサイトの製作	協会ウェブサイトに加え、センターのウェブサイトを作成して、情報提供を行った。
Facebook 等、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) の利用	Facebook を利用して、活動報告やイベント告知などをほぼ毎日行った。毎朝、その日の協会事業を“本日の ATOMS”として紹介して、写真や動画などをアップし、よりわかりやすく伝える工夫を行った。 外国人向けセミナーについては、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語、ベトナム語)で情報発信を行った。
インターネットラジオ放送	若者支援事業で実施していたラジオ番組制作を活用し、インターネットラジオでの配信を行った。

② さんかふえ

立場や活動の垣根を超えた対話の場である。1 回 2 時間、テーマを決めずに参加者とともにその日の活動内容を決める対話の場を設定。5 年目を迎えた 2015 年度は、協会事業に関わるボランティア、外国人学習者らにも積極的にさんかふえを周知し、様々な活動から多くの参加があった。(協力:大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室)

	実施日	内容(その日に話されたこと)	参加者数 (うち外国人)
第 1 回	4 月 16 日	2015 年度についての打合せ	4(1)
第 2 回	5 月 14 日	自分が教えられること/みんなと意見が違うこと/ボランティアは面白い?	11(5)
第 3 回	7 月 31 日	夏のすごしかた	15(6)
第 4 回	8 月 3 日	自分が一番頑張ったと思うこと	8(3)
第 5 回	10 月 29 日	国際交流センターってどんなところだと思いますか? /行ってみたい国	10(4)
第 6 回	11 月 23 日	日本語ボランティアのおもしろいところ/好きなお鍋は何	5(0)
		合 計	53 人(19 人)

③ C.C.カフェ

協会のにほんごボランティア有志で構成する「日本語支援グループ・むすびめ」のボランティアがカフェボランティアとして運営する方式で、センターを利用する外国人および日本人のセンター利用者が交流する場を創造した。(2015 年度は 7 回開催。参加者数 168 人)

④ 東北支援

東日本大震災以降、豊中で一人ひとりができることを考えつづけるために実施している。センターでのパネル展示を継続中である。

◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(25 団体)

公共施設予約システム運営部会	克明小学校区連絡会	識字・日本語とよなか連絡会
みんなあつまれわくわくランド実行委員会	地域支援保育士例会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター	こども政策推進連絡会議	豊中市公益市民活動推進会議
豊中市国際教育推進協議会	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市児童虐待防止ネットワーク会議
豊中市人権啓発市民ネットワーク会議	豊中市人権相談機関ネットワーク会議	豊中市 DV 防止ネットワーク会議
豊中市教職員組合	豊中市地域社会福祉活動計画推進委員会	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市保健師会	とよなか市民環境会議	豊中市子ども若者支援協議会
豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル	豊中市協働推進本部会議幹事会	人権関係施設連絡会議
豊中市防災会議		

その他(17 団体)

大阪大学大学院臨床哲学研究科	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中市民生委員・児童委員協議会(四地区)	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
関西子どもの権利条約フォーラム実行委員会	全国外国人教育研究協議会(全外教)大阪大会実行委員会	南北コリアと日本のともだち展実行委員会
「ひと・まち・出会い夏祭り」実行委員会	コリア国際学園	国際交流の会とよなか(TIFA)
大阪府行政書士会豊能支部	大阪府人権協会	

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加(もしくは主催)した。
(協会主催の研修会は㊦印で太字)

実施日	内容(主催)
4/17(金)	宮島喬先生特別講演「外国人労働者受け入れと統合政策&欧米における文化的承認の政治」(主催:大阪大学)@阪大豊中キャンパス
4/21(火)	「子どもの貧困について」(主催:大阪子ども貧困アクショングループ) ^o
4/23(土)	㊦「イスラム教徒の現状とモスク見学」@大阪マَسジト
6/5(金)	「在日イスラム教徒の課題と生活について」@茨木市道祖本地域&保育所
7/25(土)	「移住女性の権利保障とエンパワメント」(主催:ヒューライツ大阪、人種差別撤廃 NGO ネットワーク、反差別国際運動日本委員会他)@サクラファミリア
7/23(木)	わくわく多文化離乳食講習会@枚方市保健センター
7/15(水)	「東アジアを考える:戦後 70 年アジアと日本の現実」(主催:大阪自由大学)
10/14(水)	㊦職員全休人権研修「とよなか人権まちづくり協会 FW、スタベコ1体験ツアーでエコ体験」
11/21(土)	「グローバル時代における社会学連携の成果と課題」(主催:大阪大学 GLOCOL)
11/26(木)	「子ども貧困～高校中退、低学力、不登校～その実態と支援のあり方」(講師:青砥恭さん)
12/12(土)	「現代社会学講座」@京都女子大
12/17(木)	「大空小学校の取組みと子ども・若者支援」@いぶき
1/11(月・祝)	「JFC 母子にとって希望のある未来をどう築くか」(主催:移住連)
2/28(木)	メディアでおしゃべり「アニメ CM のパワーとこどもたち」(主催:すてっぷ)
2/6(土)	「事業計画のつくりかた」(主催:大阪府人権協会)@HRC ビル
2/4(金)	「子ども・若者支援協議会 研修会①」(主催:豊中市)@いぶき
2/12(金)	「子ども・若者支援協議会 研修会②」(主催:豊中市)@くらし館
2/27(土)	「女性のリーダーシップと非営利組織のマネジメント」@クレオ大阪
3/12(土)	「海を渡ってくる女性労働者～外国人のお手伝いさんをやとうって?～」(主催:TIFA)
3/18(金)	「自分の言葉で語る 映像制作ワークショップ」(主催:すてっぷ)
1/13・27、2/10・24、3/16・23(水)	「新採用者向けビジネスマナー研修」(主催:キャリアブリッジ)
3/15～18	㊦新採職員内部研修
公益法人・総務関係研修	
4/10(金)	「法人運営総合セミナー」@国民会館
5/14(木)	「労働判例に学ぶ就業規則の考え方」@ホテル新大阪コンフェレンスセンター
7/21・22(火・水)	全国公益法人協会講座「公益法人会計セミナー」@野村證券大阪支店
6/16(火)	「大阪府提出書類について」
8/4(火)	公益法人セミナー「まちかに迫るマイナンバー制」
9/10&11日(木・金)	全国公益法人協会講座「公益法人会計セミナー実務編」@野村證券大阪支店
9/29(火)	「マイナンバー制度対策」@上田公認会計士事務所
10/15(木)	「実務担当者が迷う源泉所得税とマイナンバー制度」@TKC 京滋研修会
10/16(金)	「内閣府 FAQ のポイント-収支相償等財務基準を中心に」@野村證券大阪支店
10/23(金)	「改正法人税法等の説明会」@アクア文化ホール(豊中市主催)
11/19(木)	「マイナンバー研修」(富士ゼロックス主催)
11/19(木)	「初めての年末調整実務に必要な知識と計算方法」@ホテル新大阪コンフェレンスセンター
2/2(火)	「公益法人向けマイナンバー制度」@大阪府庁
3/9(水)	公益法人セミナー「理事会・評議員会の機関運営」@大阪リバーサイドホテル